

CADvizer 2025

ユーザーガイド

[Library Module]



目次

ライブラリー..... 1

ライブラリ データ コンポーネント 1

Wire 2

Cable..... 3

Connector 4

Connector Cavity 5

Terminal..... 6

Seal 7

ETC 7

Device..... 8

Wire 9

作業スペース..... 9

データ編集 12

ChildWire(芯線)設定..... 15

Connector 17

作業スペース..... 17

データ編集 20

サブアイテム設定 24

Cavity設定 25

Terminal..... 29

作業スペース..... 29

1

データ編集	31
Seal.....	33
作業スペース.....	33
データ編集	35
Device.....	37
作業スペース.....	37
データ編集	40
ETC.....	44
作業スペース.....	44
データ編集	46
データテーブルの使い方	51
検索	51
整列	53
カスタムビュー	53
グループ照会.....	54
シンボル	55
作業スペース.....	55
カテゴリー	56
カテゴリー作成.....	56
カテゴリー削除.....	57
テンプレート	57
テンプレート作成	57
シンボル図面	60
図面作成	60
ライブラリー.....	61
図面検索	64
カテゴリー別設計要素	65

シンボル図面編集	69
描画要素の作成	69
設計要素生成	73
オブジェクト編集	76
ファイルのインポートとエクスポート	78

ライブラリー 1

CADvizer Libraryは、設計に必要な資材データを効率的に管理し、アクセスできるデータベースシステムです。各部品の属性情報を登録して照会することができ、希望するデータを検索して活用できるように支援します。また、標準化された設計図面を簡単に作成できるように、図面テンプレートを保存および管理できます。各パーツは固有のデータ フィールドを持ち、その後、セクションでパーツごとのデータ コンポーネントの説明を開始します。

ライブラリ データ コンポーネント

CADvizerで使用される主要用語を説明します。ワイヤ、ケーブル、コネクタ、ターミナル、シール、デバイスなどの各部品について説明し、各部品が持つデータフィールドのリストとその意味を整理します。フィールド名の後に*印が付いている値は、該当部品を登録する際に必ず入力しなければならない必須値です。

Wire

* 必須項目

Item	項目	説明
Part Number *	部品番号	メーカーから製品に付与された固有識別番号 Material_CSA_Colorがデフォルト値として入力例:AV SS_0.3_Gr
Internal Number *	内部番号	社内で使用する識別番号
Manufacturer	メーカー	製造した会社
Description	説明	ワイヤに対する詳細及び付加説明
Weight	重さ	単位 長さ当たりの重量 例 :0.1 (g/m)
Cost	費用	単位長さ当たりの単価 貨幣単位は別途設定なし 例: 150 (ウォン/m)
Material *	材質	ワイヤを作る際に使用された材料例:ワイヤの場合、 AESSXF 、AVSS
Color *	色相	ワイヤの色値でカラーリストにあらかじめ登録した略 語を使用して表示例: R
Outer Diameter (ODR)	外径	ワイヤ全体の外径 (絶縁および保護層を含む) 例: 1.5 (mm)
Cross-Sectional Area * (CSA)	断面積	ワイヤ導体の断面積例: 0.75 (mm ²)
American Wire Gauge	AWG	米国のワイヤゲージ標準によるワイヤの厚さ 例: 18 (AWG)
Allowable Current	許容電流	安全に耐えられる許容可能な電流 例: 10 (A)
Contact Resistance	接触抵抗	接触点間の抵抗値 例: 0.005 (ohms)
Unit Resistance	単位抵抗	単位長さ当たりの抵抗及び部品自体の抵抗値 例: 0.02 (ohms/m) または 0.02ohms

Cable

* 必須項目

Item	項目	説明
Part Number *	部品番号	メーカーから製品に付与された識別番号
Internal Number *	内部番号	社内で使用する識別番号
Manufacturer	メーカー	製造した会社
Description	説明	ケーブルに対する詳細説明及び付加説明
Material *	材質	ケーブルを作る際に使用された材料の例: AESSX F
Color *	色相	ケーブルカラー値でカラーリストにあらかじめ登録した略語を使用して表示例: R
Outer Diameter (ODR)	外径	ケーブル全体の外径 (絶縁・保護層を含む) 例: 1.5 (mm)
Group name	グループ名	ユーザーが指定できるケーブルのグループ名 例: Twist, Shield, TwistShield

Connector

* 必須項目

Part Number *	部品番号	メーカーから製品に付与された識別番号
Internal Number *	内部番号	社内で使用する識別番号
Customer Number	顧客番号	顧客会社が付与した識別番号
Series	シリーズ	製品群やシリーズ名
Number Of Cavities	キャビティ数	コネクタのキャビティ数 例: 18
Sub Type *	細部タイプ	細部タイプ - General (一般型):キャビティそれぞれ入力値が異なる場合 - Multi(多重型):多重キャビティ入力値が同一の場合 - Earth (アース型):アース端子用コネクタ 例:General
Manufacturer	メーカー	製造した会社
Description	説明	コネクタに対する詳細説明及び付加説明
Cost	費用	部品1個あたりの単価貨幣単位は別途設定 なし 例: 150 (g)
Weight	重さ	部品1個の重さの値 例: 0.1 (g)
Plating Material	メッキ材質	キャビティ端子(ターミナル)のメッキ材質 例: Tin (注釈)
Unit Resistance	単位抵抗	コネクタ自体の抵抗値 例: 0.005 (ohms)
Insertion Force	挿入力	コネクタキャビティに端子挿入時に必要な力 例: 15 (N)
Insertion Sound	挿入音	コネクタキャビティに端子結合時に必要な音の値 例:0.5(dB)
Pair	ペア	互いに結合するコネクタの対 (インラインコネクタ) 例:結合されるコネクタのPart Number
Gender *	性別	性別を表し、プラグ (数) またはソケット (アーム) を意味 例: Male、Female

Connector Cavity

Item	項目	説明
Direction	方向	端子挿入方向 - U(Up): 上の方- L (Left): 左)- R(Right): 右 - D(Down): 下の方
Blank	カッコ	ワイヤがキャビティに結合しない場合、キャビティを満たして 与えるための部品 例:ETCに登録した製品の中から選択したBlank、BlankSealのパートナーバー

Terminal

* 必須項目

Item	項目	説明
Part Number *	部品番号	メーカーから製品に付与された識別番号
Internal Number *	内部番号	社内で使用する識別番号
Customer Number	顧客番号	顧客会社が付与した識別番号
Series	シリーズ	製品群やシリーズ名
Manufacturer	メーカー	製造した会社
Description	説明	ターミナルに対する詳細説明及び付加説明
Min CSA	最小断面積	許容できるワイヤ最小断面積 例: 0.5 (mm ²)
Max CSA	最大断面積	許容できるワイヤ最大断面積 例: 2.5 (mm ²)
Strip	脱皮長	接続部のワイヤの被覆を剥がした長さ 例: 5 (mm)
Plating Material	メッキ材質	接点部分に使用されたメッキ材質 例: Tin (注釈)
Unit Resistance	単位抵抗	ターミナルの抵抗値 例: 0.005 (ohms)
Weight	重さ	ターミナル1つの重さ 例: 0.1 (g)
Cost	費用	ターミナル1つの単価 貨幣単位は別途設定なし 例: 150 (ウォン)

Seal

* 必須項目

Item	項目	説明
Part Number *	部品番号	メーカーから製品に付与された識別番号
Internal Number *	内部番号	社内で使用する識別番号
Manufacturer	メーカー	製造した会社
Description	説明	シールについての詳細・付加説明
Min CSA	最小断面積	許容できるワイヤ最小断面積 例: 0.5 (mm ²)
Max CSA	最大断面積	許容できるワイヤ最大断面積 例: 2.5 (mm ²)
Weight	重さ	Seal 1個の重さ 例: 0.1 (g)
Cost	費用	Seal 1個の単価 貨幣単位は別途設定なし 例: 150 (ウォン)

ETC

* 必須項目

Item	項目	説明
Part Number *	部品番号	メーカーから製品に付与された識別番号
Internal Number *	内部番号	社内で使用する識別番号
Manufacturer	メーカー	製造した会社
Description	説明	ETCに対する詳細及び付加説明
Type	類型	部品の類型 예시: Clip, Grommet, Cover, BlankSeal, Fuse ,,

Device

* 必須項目

Item	項目	説明
Part Number *	部品番号	メーカーから製品に付与された識別番号
Internal Number *	内部番号	社内で使用する識別番号
Customer Number	顧客番号	顧客会社が付与した識別番号
Manufacturer	メーカー	製造した会社
Description	説明	デバイスの詳細と追加の説明
Current Rating	電流等級	耐えられる最大電流 例: 5 (A)
Rated Voltage	定格電圧	正常に動作する電圧 例: 12 (V)
Allowable Current	許容電流	安全に耐えられる許容可能な電流 例: 5 (A)
Contact Resistance	接触抵抗	装置の接点で測定される抵抗 例: 0.01 (ohm)
Unit Resistance	単位抵抗	装置の電氣的抵抗を示す値 例: 0.02 (ohm)
Watt	ワット	装置の電力消費量を示す値 例: 10 (W)
Type	類型	部品の類型 예시: Fuse, Motor, Battery ..

Wire

ワイヤパートは電気信号を伝達するワイヤ(Wire)と、複数のワイヤが一つの外皮で包まれたケーブル(Cable)を管理する機能を提供します。この項目では、ワイヤおよびケーブルの基本的な概念を説明し、ワイヤパーツの作業スペースの構成と主な機能を扱います。また、データを生成、削除、修正、検索する方法とともに、ケーブルに含まれるChild Wireの概念および管理方法を案内します。

作業スペース

The screenshot displays the 'Wire' management interface. It consists of two main data tables and a toolbar at the bottom.

Table 1 (Top): Lists individual wires with columns: Part Number, Internal Number, Material, Color, Cross Section Area, American Wire Gage, Outside Diameter, Wire Diameter, Description, Allowable Current, Contact Resistance, Unit Resistance, Weight, and Cost. A red box labeled '1' highlights the 'Description' column.

Table 2 (Bottom): Lists cables with columns: Part Number, Internal Number, Manufacture, Description, Material, Color, Outside Diameter, Wire Name, Cross Area, Insulation, CMR, AWG, and CMR. A red box labeled '2' highlights the 'Description' column.

Toolbar (Bottom): A row of icons for various actions. A red box labeled '3' highlights the 'Add', 'Edit', 'Delete', 'Print', 'Export', 'Import', and 'Refresh' icons.

ワイヤーとケーブルの管理画面は、3つの主要なセクションで構成されています。上部には、個々のワイヤの情報を確認することができ、必要に応じて情報を編集することもできます。画面下部ではケーブル情報を確認することができ、該当ケーブルに含まれているChild Wireリストを管理することができます。

画面の最下段にはWireパートで利用できる機能があります。主な機能の説明は、次の段落から始まります。

1. ワイヤリスト個別のワイヤの情報を確認でき、オブジェクト情報を編集できます。
2. ケーブルリストケーブル情報を確認することができ、該当ケーブルに含まれたChild Wireリストを管理することができます。Child Wireの登録および修正の詳細については、[\[Wire – Child Wire\]](#)を参照してください。
3. 主要機能ワイヤパートで利用できる
主要機能が配置された領域で、追加、修正、削除などの作業を簡単に行うことができます。各機能については、次の段落で詳しく説明します。

主要機能

ワイヤ パーツで使用できる機能には、次のものがあります。



Color (カラー)

Color機能はワイヤタブでのみ提供され、ワイヤとケーブルの色を予め定義されたリストから選択するように制限します。 これにより、色表記の一貫性を維持し、ユーザーごとに異なる表記による混乱を防止することができます。

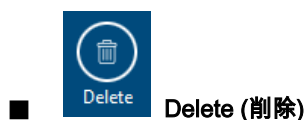
色を追加する際には、色の名前(Name)、略語(Abbreviation)、そしてRGB値(Color)を入力する必要があり、登録された色はその後一貫して使用されます。 画面には略語が表示され、色分けができます。

色の略語は、大文字と小文字の組み合わせでのみ指定できます。 略語は大文字で始まり、その後に小文字が続く形でなければならず、大文字同士または小文字同士の組み合わせは許されません。 例えば、Light Blueの色は「LB」ではなく「Lb」または「Lbl」で指定することができます。

Name	Abbreviation	Color
Red	R	255, 0, 0
Green	G	124, 252, 0
Brown	Br	139, 69, 19
Yellow	Y	255, 255, 0
Gray	Gr	128, 128, 128
Black	B	0, 0, 0
Purple	Pp	128, 0, 128
Blue	L	0, 0, 255
Orange	O	255, 140, 0
White	W	255, 255, 255
Pink	P	255, 20, 147
Silver	Si	192, 192, 192
Violet	V	238, 130, 238
Lavender	La	230, 230, 250
LightGray	Lg	211, 211, 211
Khaki	Kk	102, 153, 0
LightBlue	Lb	173, 216, 230

약어는 대문자-소문자 조합으로 지정 ex) R, Db, Dg x) DB, DG

Save



Delete (削除)

選択した項目をリストから削除する機能で、不要なデータを削除できます。 削除されたデータは回復できないため、慎重に使用する必要があります。 もしデータを完全に削除する代わりに、今後使用できるように保管したい場合は、状態変更を通じて該当データを「使用しない」状態に設定することがより適切な方法です。 ステータスの変更の詳細については、[Wire - データの編集 - ステータスの変更] を参照してください。



■ New (新たに追加)

アクティブなパーツ タブで新しいオブジェクトを追加する機能です。 これにより、ユーザーは新たに必要なアイテムをシステムに登録できます。



■ Import (インポート(持ってくる))

既存のデータに外部からバックアップしておいたデータを追加する機能です。
Cadvisor内でExportにエクスポートされたファイルを読み込んでシステムに追加することができます。 既存のデータはそのまま維持され、読み込んだファイルの内容が既存のデータに追加またはマージされます。



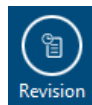
■ Replace (交換)

既存のデータをすべて削除し、新しいファイルに置き換える機能です。 Cadvisor内でExportに送信したファイルを読み込み、システムに保存されたデータを新しいリストやデータに完全に置き換えることになり、既存のデータは復旧できません。 既存のデータは回復できないため、新しいデータを適用する場合に使用します。



■ Export (エクスポート(出す))

エクスポートは、システム内のデータを外部ファイルにエクスポートする機能です。データをバックアップしたり、別のシステムに転送したりする用途で使用されます。エクスポートされたファイルは、インポート機能やReplace機能を介して再度読み込むことができます。



■ Revision (リビジョン管理)

選択されたオブジェクトの修正履歴(リビジョン)を確認できる機能で、各修正事項に対する情報を追跡・管理することができます。 修正された日付、修正した人、修正タイプ (Modify、Create、Delete)、説明、総リビジョン数などを確認することができ、日付の左側の+ボタンをクリックすると、データ変更履歴(Before Data、After Data)を詳細に確認することができます。

Revision				
Date	Author	Action	Description	Total Revision
2024-09-10	KJWS774	Modify		2
Detail Revision List				
Action	Type	Before Data	After Data	
Modify	Wire-OutsideDiameter	0	2	
Modify	Wire-Color	Red	R	
2024-09-10	KJWS774	Modify		1



■ Hide/Show (隠す/見える)

メインタブを非表示または再表示する機能で、作業中の画面要素を最小化し、作業スペースを効率的に管理するときに使用します。

データ編集

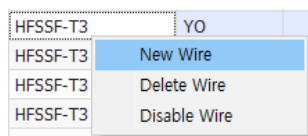
ワイヤーとケーブル データを生成、修正、削除、ステータス変更、検索する方法を説明します。 二つの項目の作業方式は同じで、本説明ではワイヤを基準に進めます。 まず、オブジェクトを生成する方法から始めて、各データ編集機能を段階的に案内します。

オブジェクト作成

オブジェクトを生成する方法は 2 つあります。

■ マウスの右クリックによるオブジェクト生成

ワークスペースでオブジェクトを生成するには、データリストでマウスを右クリックしてポップアップメニューを開きます。 その後、[New Wire] または [New Cable] を選択すると、オブジェクト生成ポップアップが表示されます。



■ 下段メニューを通じたオブジェクト生成

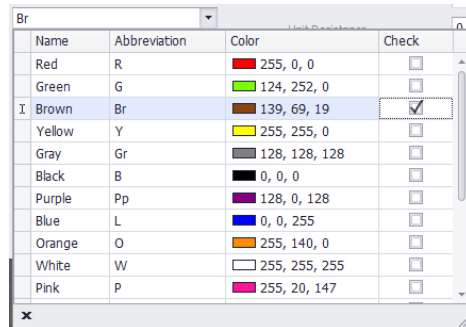
下段メニューで[New]ボタンをクリックした後、生成しようとする部品を選択するとオブジェクト生成ポップアップが開きます。

新しいパーツを登録するには、必須入力値を入力する必要があります。 必須入力フィールドは、該当フィールド名の横に*印がついており、これを入力しないと部品登録ができません。 ワイヤの必須入力値はPart Number、Material、Color、Cross Section Areaであり、ケーブルの場合、Part Number、Color、Materialが必須項目に含まれます。 各フィールドの詳細については、[パーツ別フィールド情報 - Wire] [ページ](#)を参照してください。

Part Numberは重複登録できず、ワイヤの場合、CSA、Material、Colorの値がすべて同じ場合でも重複とみなされ、生成できません。

ワイヤのPart Numberは、基本的に「Material_CSA_Color」形式で自動保存されます。ユーザーが直接Part Numberを指定するには、該当フィールドの上段のチェックボックスを有効にすると、手動入力が可能です。

カラー(Color)は、Colorタブであらかじめ指定されたカラーのみ選択でき、1つのワイヤーには最大2色を設定できます。色は選択順によって、最初の色はメインカラー(Main Color)、2番目の色は補助色(Sub Color)に自動的に区分されます。色を選択するには、リストの右側のCheckカラムで希望する色のチェックボックスをクリックします。チェックした順に酒色と補助色が決まります。



その他にも、ワイヤのAllowable Current、Contact Resistance、Unit Resistanceの値は、電圧降下(Voltage Drop)機能で使用される情報です。電圧降下配線、保護機能がどのように活用されるかについての詳しい説明は、[\[電圧降下、配線保護\]](#)ページで確認できます。また、Cost(原価)とWeight(重量)の値を入力すると、トポロジ機能で設計最適化及び原価節減に活用することができ、これに対する詳細は[\[トポロジ\]](#)ページで確認することができます。

オブジェクト修正

オブジェクトを修正するには、修正したいアイテムをダブルクリックしてデータ修正ウィンドウを開きます。修正後、更新ボタンをクリックして変更を保存します。Part Numberは、他のオブジェクトと重複しないように設定する必要があり、重複した値がある場合は保存されません。

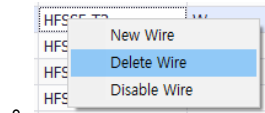


オブジェクト削除

オブジェクトの削除には 2 つの方法が使用できます。

■ マウスの右クリックによるオブジェクト削除データ

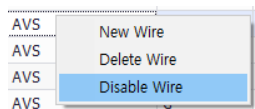
リストから削除する項目を選択し、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ここで、[Delete Wire] / [Delete Cable] オプションを選択すると、削除確認メッセージが表示され、「はい」ボタンをクリックすると、そのオブジェクトが削除されます。



- 下段メニューからオブジェクトを削除・削除する項目を選択し、下段メニューの[Delete]ボタンにマウスを乗せると、Wire/Cableの2つのオプションが表示されます 。削除する項目を選択すると、削除確認メッセージが表示され、「はい」ボタンをクリックすると、そのオブジェクトが削除されます。

状態変化

オブジェクトの状態を変更するには、変更するデータを選択し、マウスを右クリックして表示されるポップアップメニューから設定できます。該当オブジェクトがまだ使用可能な状態であれば、[Disable Wire] / [Disable Cable]オプションが表示され、選択すると非使用状態に変更されます。逆に、すでに非使用処理されたオブジェクトの場合、[Enable Wire] / [Enable Cable]オプションが表示され、これを選択すると、再び使用可能な状態に変更できます。



非使用処理されたデータはリストの一番下に並べられ、そのデータの背景色がグレーに変更されます。これにより、未使用のデータを区別できます。この機能は、使用されなくなったデータや、同じ品番のリニューアルバージョンがある場合、あるいは生産中止などの処理をする時に活用することができます。

オブジェクト検索

ワイヤー、ケーブル オブジェクトを検索する方法は 2 つあります。検索方法の詳細については、[データ テーブルの使用法 - 検索] ページで確認できます。

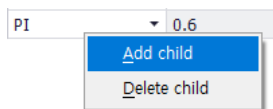
ChildWire(芯線)設定

Child Wireとは、1つのケーブル内で個別に管理されるワイヤのことです。これにより、ケーブル内部の各ワイヤを詳細に設定できます。

Child Wireを追加

1. ケーブル データ リストから追加するケーブルを選択します。
2. 右側のChild Wireタブで右クリックし、[Add Child]を選択すると、新しい行が追加されます

。



- 追加された行の最初のセルをクリックすると、ワイヤ選択ウィンドウが開きます。
既存に登録されたChild Wireが1つ以上ある場合、MaterialとCSAが同じワイヤだけを選択できるようにリストがフィルタリングされます。

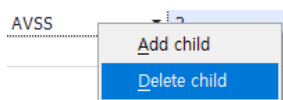
Material	CSA	AWG	Color
▶ AVSS	2	0	LY
AVSS	2	0	LO
AVSS	2	0	GrO
AVSS	2	0	RW
AVSS	2	0	BY
AVSS	2	0	YR

- 選択ウィンドウで追加したいワイヤをダブルクリックすると、該当Child Wireが登録されます。
既に追加されたChild Wire項目をクリックすると、上段のワイヤリストから該当ワイヤに自動的にフォーカスが移動され、選択されたChild Wireの情報を簡単に確認することができます。

Child Wire			
Material	CSA	AWG	Color
▶ AVSS	2	0	LY

Child Wire削除

- 削除したいChild Wireを選択し、右クリックして [Delete Child] を選択します。



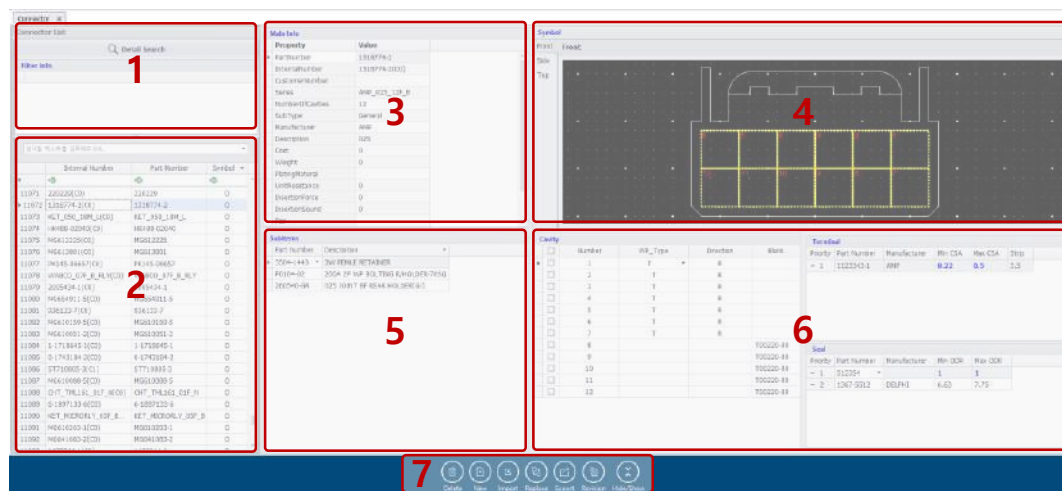
- 削除確認メッセージボックスが表示され、「Yes」ボタンをクリックすると、選択したChild Wireが削除されます。

Connector

コネクタは、電気回路でワイヤを接続する重要なコンポーネントであり、回路間の電気信号を安定的に伝達する役割を果たします。このセクションでは、コネクタ パーツの作業スペースの構成と主な機能を説明し、コネクタ データを生成、修正、削除、検索する方法を案内します。

作業スペース

コネクタ管理画面では、コネクタのリストを確認して編集できます。各コネクタはサブアイテムリストを含み、キャビティごとの防水タイプと方向を設定できます。ブランク状態の場合、ブランクシールを登録することができ、各キャビティには適切なターミナルとシールを連結する機能も提供します。画面上部ではコネクタリストと主要情報を確認でき、下部にはターミナルパートで使用できる様々な機能が配置されています。画面の主な機能は、次の段落で詳しく説明します。



1. コネクタ検索コネクタ

をすばやく検索できる機能で、欲しいコネクタを簡単に見つけることができます。検索方法の詳細については、[Connector-オブジェクトの検索]を参照してください。

2. コネクタ リスト

現在登録されているコネクタのリストを表示し、各コネクタを選択して編集することができます。コネクタリストは、Part Number、Internal Number、Symbolカラムで構成されます。Part Numberはコネクタの部品番号、Internal Numberは内部識別番号を表し、Symbolはそのコネクタがシンボル形状を登録されているかどうかを確認できる項目です。

3. コネクタ情報

選択したコネクタの詳細情報を確認できる領域で、各コネクタの特性および設定を見ることができます。

4. シンボル形状コネクタの視覚的なシンボル形状を示す領域で、設計図面に表示される形態を確認することができます。左側のタブでFront View、Side View、Top Viewを確認することができます。シンボル登録に関する詳細については、[シンボル]を参照してください。

5. サブアイテム

コネクタに含まれるサブアイテムのリストを表示し、各サブアイテムを管理することができます。 サブアイテムの登録と修正に関する詳細については、[Connector-Sub Item設定]を参照してください。

6. キャビティ情報

コネクタの各キャビティに関する情報を表示し、防水タイプ、方向、ターミナル、シール接続状態などを管理することができます。 キャビティ情報の登録および修正に関する詳細については、[Connector-Cavityの設定]を参照してください。

7. 主要機能

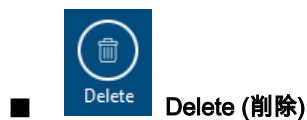
コネクタの管理に必要な主要機能が配置された領域で、追加、修正、削除などの作業を簡単に行うことができます。 各機能については、次の段落で詳しく説明します。

主要機能

コネクタ パーツで使用できる機能には、次のものがあります。



Save機能はコネクタタブでのみ提供され、コネクタリストで選択したオブジェクトの情報を修正した場合に使用できます。 変更があるとき、他のコネクタを照会したり、タブを移動しようとする、保存するかどうかを尋ねる通知が表示されます。



選択した項目をリストから削除する機能で、不要なデータを削除できます。 削除されたデータは回復できないため、慎重に使用する必要があります。 もしデータを完全に削除する代わりに、今後使用できるように保管したい場合は、状態変更を通じて該当データを「使用しない」状態に設定することがより適切な方法です。 ステータスの変更の詳細については、[Connector - データの編集 - ステータスの変更] を参照してください。



アクティブなパーツ タブで新しいオブジェクトを追加する機能です。 これにより、ユーザーは新たに必要なアイテムをシステムに登録できます。



■ インポート(持ってくる)

既存のデータに外部からバックアップしておいたデータを追加する機能です。
Cadvisor内でExportにエクスポートされたファイルを読み込んでシステムに追加することができます。 既存のデータはそのまま維持され、読み込んだファイルの内容が既存のデータに追加またはマージされます。



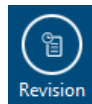
■ Replace (交換)

既存のデータをすべて削除し、新しいファイルに置き換える機能です。 Cadvisor内でExportに送信したファイルを読み込み、システムに保存されたデータを新しいリストやデータに完全に置き換えることになり、既存のデータは復旧できません。 既存のデータは回復できないため、新しいデータを適用する場合に使用します。



■ エクスポート(出す)

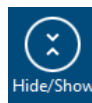
エクスポートは、システム内のデータを外部ファイルにエクスポートする機能です。
データをバックアップしたり、別のシステムに転送したりする用途で使用されます。
エクスポートされたファイルは、インポート機能やReplace機能を介して再度読み込むことができます。



■ Revision (リビジョン管理)

選択されたオブジェクトの修正履歴(リビジョン)を確認できる機能で、各修正事項に対する情報を追跡・管理することができます。 修正された日付、修正した人、修正タイプ(Modify、Create、Delete、Add)、説明、総リビジョン数などを確認することができ、日付の左側の+ボタンをクリックするとデータ変更内訳(Before Data, After Data)を詳細に確認することができます。

Revision				
Date	Author	Action	Description	Total Revision
2024-09-03	KJWS774	Modify		1
2024-09-03	KJWS774	Modify		1
2025-03-21	KJWS774	Modify		6
Detail Revision List				
Action	Type	Before Data	After Data	
Modify	Conn-Gender		Female	
Modify	Conn-Par		37250-3T040	
Modify	Cavity 1 - WP_Type		P	
Add	Cavity 1 - Terminal		CBR696-012/15/20	
Add	Subitem		KVMACS-28F100	
Add	Subitem		RLS-2-G-BK-#0-L1-Y	



■ Hide/Show (隠す/見える)

メインタブを非表示または再表示する機能で、作業中の画面要素を最小化し、作業スペースを効率的に管理するときに使用します。

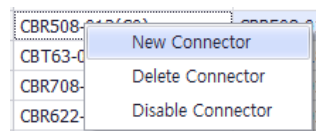
データ編集

コネクタを生成、修正、削除、ステータス変更、検索する方法を説明します。 まず、オブジェクトを生成する方法から始めて、各データ編集機能を段階的に案内します。

オブジェクト作成

オブジェクトを生成する方法は 2 つあります。

- マウスの右クリックによるオブジェクト生成コネクタ リスト空間
でオブジェクトを生成するには、データリストでマウスを右クリックしてポップアップメニューを開きます。 その後、[New Connector] を選択すると、オブジェクト生成ポップアップが表示されます。



- 下段メニューを通じたオブジェクト生成下段メニューで[New]ボタンをクリックした後、生成しようとする部品を選択するとオブジェクト生成ポップアップが開きます。

新しいパーツを登録するには、必須入力値を入力する必要があります。 必須入力フィールドは、該当フィールド名の横に*印がついており、これを入力しないと部品登録ができません。 コネクタの必須入力値は、Part Number、Internal Number、Sub Type、Gender、Number Of Cavities です。 各フィールドの詳細については、[\[部品別フィールド情報 - Connector\]](#) ページを参照してください。

オブジェクト修正

オブジェクトを修正するには、Main InfoタブでValue値を修正すればいいです。 Number Of Cavityの数は修正できず、すべての修正が完了すると、下段の機能のコレクションでSaveボタンをクリックして保存することができます。

Main Info	
Property	Value
PartNumber	0-1897301-2
InternalNumber	0-1897301-2(C0)
CustomerNumber	
Series	02506011d0
NumberOfCavities	94
Sub Type	Multi
Manufacturer	AMP
Description	R-PCU 94F(B)
Cost	12
Weight	0
PlatingMaterial	
UnitResistance	
InsertionForce	8.222
InsertionSound	75.198
Pair	1897356-3

Pairの登録及び解除

インラインコネクタのPair値は、Main Infoタブで修正できます。

■ Pair登録

1. PairのValueボックスをクリックすると、コネクタリストポップアップが開きます。
リストの内訳は、現在登録しようとしているコネクタとNumber of Cavities(キャビティ数)が同じで、Gender(性別)が反対のコネクタがフィルタリングされて表示されます。
2. 接続するコネクタを選択し、ダブルクリックします。
3. 下段のSaveボタンをクリックすると登録が完了します。
4. ペアが接続されているコネクタは、リストでハイライトされて表示されます。

4	2381TS1P1(C1)	2381TS1P1
5	2352CT1P1(C1)	2352CT1P1

■ Pair解除

1. Pairを解除するには、Valueボックスをクリックしてポップアップを開きます。
2. ポップアップリストの一番上にあるUnPairオプションを選択します。
3. Saveボタンをクリックすると、Pair登録が解除されます。

0-1897301-2 [Female / 94]			
Part Number Internal Number Gender Number Of Cavities			
UnPair			
2-1897301-2	2-1897301-2(C0)		94
1897301-2	1897301-2(C0)	Male	94
1-1897301-2	1-1897301-2(C0)	Male	94
1897356-3	1897356-3(C0)	Male	94
1897301-2	1897301-2(C1)	Male	94
1-1897301-2	1-1897301-2(C1)	Male	94
1897301-2	1897301-2(C2)	Male	94
YRC_060_20E_Rr_A	YRC_060_20E_Rr_A(C0)	Male	94

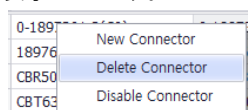
オブジェクト削除

オブジェクトの削除には 2 つの方法が使用できます。

■ マウスの右クリックによるオブジェクト削除コネクタ

のリストから削除したい項目を右クリックすると、ポップアップメニューが開きます。
ポップアップメニューから [Delete Connector] を選択すると、削除確認メッセージウィンドウが表示されます。 "はい" ボタンをクリックすると、そのオブジェクト

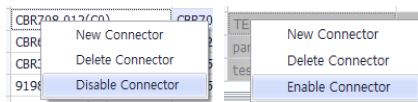
が削除されます。



- 下段メニューを通じたオブジェクト削除コネクタリストから
削除する項目を選択し、下段メニューで[Delete]ボタンをクリックすると、同じ削除確認メッセージウィンドウが表示されます。 "はい" ボタンをクリックすると、選択したオブジェクトが削除されます。

状態変化

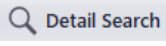
オブジェクトの状態を変更するには、変更するデータを選択し、マウスを右クリックして表示されるポップアップメニューから設定できます。該当オブジェクトがまだ使用可能な状態であれば、[Disable Connector] オプションが表示され、選択すると、非使用状態に変更されます。逆に、すでに非使用処理されたオブジェクトの場合、[Enable Connector] オプションが表示され、これを選択すると、再び使用可能な状態に変更できます。

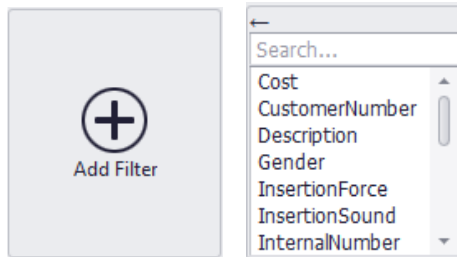


非使用処理されたデータはリストの一番下に並べられ、そのデータの背景色がグレーに変更されます。これにより、未使用のデータを区別できます。この機能は、使用されなくなったデータや、同じ品番のリニューアルバージョンがある場合、あるいは生産中止などの処理をする時に活用することができます。

オブジェクト検索

ターミナル オブジェクトを検索する方法は 2 つあります。1 つ目は、コネクタ リストから検索する方法で、これについての詳細は、[\[データ テーブルの使用法-検索\]](#) ページで確認できます。二つ目は、Detail Search機能を活用する方法です。

Detail Searchを使用するには、左上のDetail Searchボタンをクリックして検索ポップアップを開きます。 ポップアップでAdd Filterボタンをクリックした後、検索するカラムを選択することができ、選択可能なカラムはコネクタのMain Info属性値とSymbolです。 カラムを選択すると、そのカラムに含まれている値のリストが表示され、希望する値をクリックして検索することができます。リストの上部には検索ウィンドウがあり、特定の値を入力してすばやく見つけることもできます。SymbolカラムとPairカラムは、それぞれ「シンボルあり/なし」、「Pair接続なし」の2つのオプションだけを選択できます。



検索するカラムは複数追加することができ、カラム間の条件はAND演算で適用され、同じカラム内で複数の値を選択する場合はOR演算が適用されます。 検索条件を設定した後、右下の適用ボタンをクリックするとフィルターが適用され、コネクタリストがフィルタリングされます。 適用されたフィルター情報はFilter Infoウィンドウで確認できます。

Filter Info	
Gender	Male
Pair	Not Connected
Symbol	Exists
SubType	Earth, General

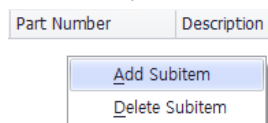
検索条件を初期化するには、Detail Searchボタンをもう一度クリックした後、初期化ボタンを押して適用ボタンをクリックすると、コネクタリストが元の状態に復元されます。 リストで複数の値を選択するときは、1つの値をクリックしてからカーソルを下げると、連続選択が可能で、Controlキーを押した状態でクリックすると、個別項目を追加で選択することができ、Shiftキーを押した状態で2項目をクリックすると、その範囲内のすべての項目が選択されます。

サブアイテム設定

Sub Itemはコネクタに含まれる追加コンポーネントで、特定のコネクタに属する個別部品を管理できます。 Sub Itemを通じてコネクタの構成要素を詳細に設定することができます。

サブアイテム登録

1. Sub Item画面で右クリックし、[Add SubItem]を選択すると、新しい行が追加されます。



2. 追加された行の最初のセルをクリックすると、サブアイテム選択ウィンドウが開きます。このウィンドウでは、ETCパートに登録されたリストを確認できます。

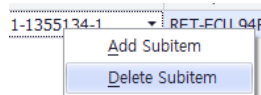
Part Number	Description	Number	WP_Type	Direction	Blank	Priority
Part Number	Type	Manufacturer	Description	Cost		
RLS-2-6-8K-P8-L1-Y	ETC	RLIL		0		
SJD-1101	ETC	SUNGJIN		0		
KW-1-25-5A	ETC	Mitsubishi		0		
KW4A(S)-23FL00	ETC	유성전자		0		
ID-1022-S	ETC	DONG IL		0		
BNF-1525	ETC	FEELUX		0		
DC POWER JACK	ETC			0		
STEREO 3.5 PLUG	ETC			0		
PB04	ETC			0		
YSDA4070A 8Ω 5W	ETC			0		
936103-3	RETAINER	AMP	RET-025 WP 2F (Gr)	0		
PL475-02630	RETAINER	KUM	RET-NDVVP-2F (G) KUM	0		

- 追加したいアイテムを選択ウィンドウでダブルクリックすると、そのオブジェクトが登録されます。
。カラムをクリックしてデータを昇順または降順に並べ替えることができ、Ctrl+Fを使用すると、目的の項目を素早く検索することができます。

Part Number	Description
1-1355134-1	RET-ECU 94F (1.5mm)AMP

Sub Item削除

- 削除したいSub Itemを選択し、右クリックして[Delete SubItem]を選択



- 削除確認メッセージボックスが表示され、「 Yes 」 ボタンをクリックすると、選択した Sub Itemが削除されます。

Cavity設定

Cavity

	Number	WP_Type	Direction	Blank
☐	1	T	L	967631-1
☐	2	W	R	ID-1022-S
☐	3	W	R	ID-1022-S
☐	4	W	R	ID-1022-S
☐	5	W	R	
☐	6	W	L	
☐	7	P		
☐	8	W	R	KW-1-25-5A
☐	9	W	R	KW-1-25-5A
☐	10	W	R	KW-1-25-5A
☐	11	W	R	KW-1-25-5A
☐	12	W	R	KW-1-25-5A
☐	13	T	L	967631-1
☐	14	T	L	967631-1
☐	15	P		
☐	16	P		

Terminal

Priority	Part Number	Manufacturer	Min CSA	Max CSA	Strip
= 1	CBR560-022	창원전자	20	20	15
= 2	91961-3N...	창원공업	30	30	16

Seal

Priority	Part Number	Manufacturer	Min ODR	Max ODR
= 1	375 973 7...	FCI	3.4	3.9

キャビティ設定では、各キャビティに対して防水タイプ、方向、ブランクシールかどうかを指定できます。また、特定のCSA値を持つワイヤを接続する際、自動的に適用されるターミナルとシールをあらかじめ登録することができます。登録されたターミナルとシールは、ワイヤのCSA範囲によって自動的に選択され、これによってキャビティ別のコンポーネントを効率的に管理することができます。

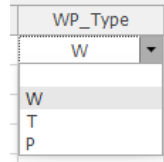
す。

防水タイプ&方向&防水シール設定

各キャビティは防水タイプ、方向、防水シールかどうかを個別に設定できます。 防水タイプの設定を通じて、該当キャビティが防水機能をサポートするかどうかを決定し、方向設定を通じてキャビティの装着方向を指定することができます。 また、防水シールの設定により、特定のキャビティを使用しないように設定することができます。 これらの設定により、コネクタの環境特性と要件に合わせてキャビティを構成できます。

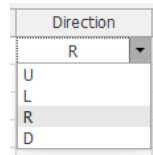
■ **防水タイプを設定するキャビティ番号のWP_Typeセルをクリックします。**

クリックすると、ドロップダウンメニューからW、T、Pオプションが表示され、各オプションの意味と詳細は、[ライブラリ - ライブラリ データ コンポーネント - Connector Cavity] ページで確認できます。



■ **方向設定するキャビティ番号のDirectionセルをクリックします。**

ドロップダウンメニューからU、L、R、Dオプションが提供され、各方向の意味と使用方法は[ライブラリ - ライブラリデータ構成要素 - Connector Cavity]ページで確認できます。



■ **防水シールを設定するキャビティ番号のBlankセルをクリックすると、ポップアップウィンドウが開きます。このポップアップでは、ETCパートに登録されたリストが表示され、希望する項目を選択することができます。**

Control + Fキーを押して検索して設定することも可能です。

X 검색할 텍스트를 입력해주세요. 찾기 초기화				
Part Number	Manufacturer	Internal Number	Cost	Description
T00220-00	전양로퍼레이션		0	INV CLAMP RING 전양
T00330-00	전양로퍼레이션		0	MTR CLAMP RING 전양
T00120-00	전양로퍼레이션		0	13MM 2F CLAMP 전양
T00130-00	전양로퍼레이션		0	13MM 2F CLAMP RING 전양
KW4A(S)-23F100	유명전자		0	
260548	유라		0	570 2F BOLTING TPA (Or)
P0077-05	유라		0	570 3F WP BOLTING HS...
260535	유라		0	375 1F REAR HOLDER - ...
260536	유라		0	375 1F REAR HOLDER - ...
260510	유라		0	250 5F WP REAR HOLDER
P0105-02	유라		0	R/HOLDER 512 WP 2F 1...

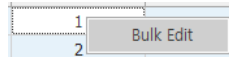
■ **一括設定(Bulk Edit)複数**

のキャビティを一度に設定するには、Bulk Edit機能を使用することができます。

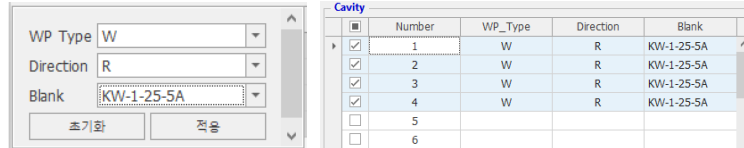
1. リストの最初の列にあるチェックボックスをクリックして、設定するキャビティを選択します。

Cavity				
	Number	WP_Type	Direction	Blank
☒	1			
☒	2			
☒	3			
☒	4			
☐	5			
☐	6			

2. マウスの右ボタンをクリックしてBulk Editを選択すると、設定ポップアップが開きます。



3. ポップアップで希望する値を入力した後、適用ボタンをクリックすると、選択したすべてのキャビティに同じ設定が反映されます。



設定値を初期化するには、ヘッダーのチェックボックスをクリックして全体を選択し、右クリックして初期化ボタンを押して適用するだけです。

ターミナル&シール追加

各キャビティには、特定のCSA範囲を持つワイヤに合ったターミナルとシールを登録することができます。登録されたターミナルとシールは、ワイヤ挿入時にワイヤのCSA値によって自動的に選択されます。また、1つのキャビティに複数のターミナルとシールを登録することで、様々なオプションを設定することができます。

■ ターミナル&シール追加

1. 設定するキャビティをキャビティ リストでクリックします。
2. ターミナルまたはシール画面で右クリックし、Add Rowをクリックして新しい空白行を追加します。
3. 追加された空の行でPart Numberセルをクリックすると、TerminalまたはSealパートに登録されたリストが表示されます。希望する項目を選択するか、Control + Fを押して検索して選択することができます。
4. 登録したいターミナルまたはシールをダブルクリックすると、その項目が追加されます。

■ ターミナル&シール削除

1. 削除したいキャビティをリストから選択します。
2. 右クリックしてDeleteをクリックした後、メッセージボックスでYesを押すと、ターミナルまたはシールが削除されます。

- **ターミナル&シール優先順位変更**ターミナルとシールの優先順位は、ワイヤのCSA値が重なったときに、どの項目を優先して使用するかを設定する機能です。CSA範囲に該当する項目が複数ある場合、数字が小さい項目がより高い優先順位を持ちます。

優先順位は「Priority」列でドラッグアンドドロップで調整でき、CSA範囲が重なる項目はMin/MaxCSA値が青色で表示されます。

Terminal						Seal				
Priority	Part Number	Manufacturer	Min CSA	Max CSA	Strip	Priority	Part Number	Manufacturer	Min ODR	Max ODR
= 1	802479	DELPHI	0.5	1.25	5	= 1	375 973 742 E	FCI	3.4	3.9
= 2	ST740734-3	KET	0.3	0.85	5.5	= 2	1544316-1	AMP	3.8	4.6
= 3	ST711199-3	KET	1.5	3.25	6.5	= 3	WS201011L	대양공업사	1.4	1.8

Terminal

ターミナル(Terminal)は電線が連結される接続地点で、電気回路でワイヤを連結して固定する役割をします。このトピックでは、ターミナル パーツのワークスペース構成と主要な機能について説明します。また、ターミナル データを生成、削除、修正、検索する方法も案内します。

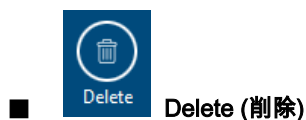
作業スペース

The screenshot shows a software interface for managing terminals. At the top, there's a 'Terminal' tab selected. Below it, a table lists various terminal parts. The table has columns for Part Number, Manufacturer, Min CSA, Max CSA, Strip, and other technical specifications. A red box is drawn around the 'Terminal' tab and the 'Delete' button in the bottom toolbar, which is labeled with a red '2'. The 'Delete' button is represented by a trash can icon.

1. ターミナル リスト 現在登録されているターミナルのリストを照会することができ、ターミナルを選択して編集することができます。
2. 主要機能ターミナル
の管理に必要な主要機能が配置された領域で、追加、修正、削除などの作業を簡単に行うことができます。 各機能については、次の段落で詳しく説明します。

主要機能

ターミナル パーツで使用できる機能には、次のものがあります。



選択した項目をリストから削除する機能で、不要なデータを削除できます。 削除されたデータは回復できないため、慎重に使用する必要があります。 もしデータを完全に削除する代わりに、今後使用できるように保管したい場合は、状態変更を通じて該当データを「使用しない」状態に設定することがより適切な方法です。 ステータス変更

の詳細については、[Terminal - データの編集 - ステータスの変更] を参照してください。



■ New (新たに追加)

アクティブなパーツ タブで新しいオブジェクトを追加する機能です。 これにより、ユーザーは新たに必要なアイテムをシステムに登録できます。



■ インポート(持ってくる)

既存のデータに外部からバックアップしておいたデータを追加する機能です。
Cadvisor内でExportにエクスポートされたファイルを読み込んでシステムに追加することができます。 既存のデータはそのまま維持され、読み込んだファイルの内容が既存のデータに追加またはマージされます。



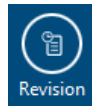
■ Replace (交換)

既存のデータをすべて削除し、新しいファイルに置き換える機能です。 Cadvisor内でExportに送信したファイルを読み込み、システムに保存されたデータを新しいリストやデータに完全に置き換えることになり、既存のデータは復旧できません。 既存のデータは回復できないため、新しいデータを適用する場合に使用します。



■ エクスポート(出す)

エクスポートは、システム内のデータを外部ファイルにエクスポートする機能です。データをバックアップしたり、別のシステムに転送したりする用途で使用されます。エクスポートされたファイルは、インポート機能やReplace機能を介して再度読み込むことができます。

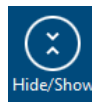


■ Revision (リビジョン管理)

選択されたオブジェクトの修正履歴(リビジョン)を確認できる機能で、各修正事項に対する情報を追跡・管理することができます。 修正された日付、修正した人、修正タイプ(Modify、Create、Delete)、説明、総リビジョン数などを確認することができ、日付の左側の+ボタンをクリックすると、データ変更履歴(Before Data, After Data)を詳細に確認することができます。

Revision				
Date	Author	Action	Description	Total Revision
2024-09-03	KJWS774	Modify		1
2024-09-03	KJWS774	Modify		1
2025-03-21	KJWS774	Modify		6

Detail Revision List			
Action	Type	Before Data	After Data
Modify	Conn-Gender		Female
Modify	Conn-Pair		37250-3T040
Modify	Cavity 1- WP_Type		P
Add	Cavity 1 - Terminal		CBR698-012/15/20
Add	Subitem		KW4A(S)-23F100
Add	Subitem		RL5-2-G-BK-P8-L1-Y



■ Hide/Show (隠す/見える)

メインタブを非表示または再表示する機能で、作業中の画面要素を最小化し、作業スペースを効率的に管理するときに使用します。

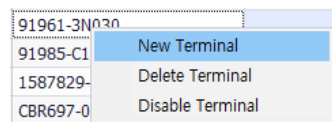
データ編集

ターミナル データを生成、修正、削除、ステータス変更、検索操作を実行できます。 まず、ターミナル オブジェクトを生成する方法から始まり、各データの編集機能を段階的に案内します。

オブジェクト作成

オブジェクトを作成するために 2 つの方法を使用できます。

- マウスの右クリックによるオブジェクト生成ワークスペース
オブジェクトを生成するには、データリストでマウスを右クリックしてポップアップメニューを開きます。 メニューから [New Terminal] を選択すると、オブジェクト生成ポップアップが表示されます。



- 下段メニューを通じたオブジェクト生成下段の

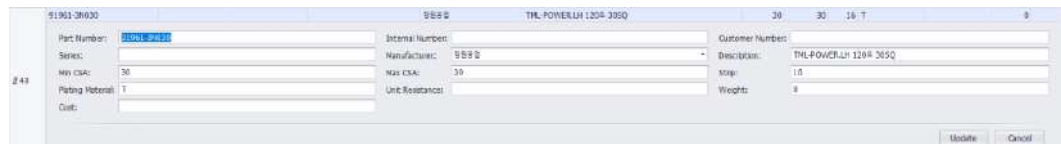
メニューで、[New ] ボタンをクリックすると、同じオブジェクト生成ポップアップが開きます。

新しいターミナルを登録するには、必須入力値を入力する必要があります。 必須入力値と追加情報を入力し、確認ボタンをクリックするとターミナルが作成されます。 必須入力値にはPart Number、Internal Number、Cross Section Area (Min/Max)が含まれます。 各フィールドの詳細については、[部品別フィールド情報 - Terminal] ページを参照してください。

Cross Section Area (CSA) は、当該ターミナルが使用できるワイヤの範囲を指定する値です。 この値は、製造図面(MFG)でコネクタとターミナルを連携する際に正しいワイヤを選択できるようにフィルタリングするために使用されます。

オブジェクト修正

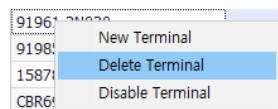
オブジェクトを修正するには、修正したいアイテムをダブルクリックしてデータ修正ウィンドウを開きます。修正後、更新ボタンをクリックして変更を保存します。Part Numberは、他のオブジェクトと重複しないように設定する必要があり、重複した値がある場合は保存されません。



オブジェクト削除

オブジェクトの削除には 2 つの方法が使用できます。

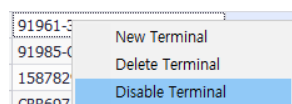
- マウスの右クリックによるオブジェクト削除
データリストから削除したい項目を右クリックすると、ポップアップメニューが開きます。ポップアップメニューから [Delete Terminal] を選択すると、削除確認メッセージウィンドウが表示されます。"はい" ボタンをクリックすると、そのオブジェクトが削除されます。



- 下段メニューを通じたオブジェクト削除
項目を選択し、下段メニューで [Delete] ボタンをクリックすると、同じ削除確認メッセージウィンドウが表示されます。 "はい" ボタンをクリックすると、選択したオブジェクトが削除されます。

状態変化

オブジェクトの状態を変更するには、変更するデータを選択し、マウスを右クリックして表示されるポップアップメニューから設定できます。該当オブジェクトがまだ使用可能な状態であれば、[Disable Terminal] オプションが表示され、選択すると非使用状態に変更されます。逆に、すでに非使用処理されたオブジェクトの場合、[Enable Terminal] オプションが表示され、これを選択すると、再び使用可能な状態に変更できます。



非使用処理されたデータはリストの一番下に並べられ、そのデータの背景色がグレーに変更されます。これにより、未使用のデータを区別できます。この機能は、使用されなくなったデータ

や、同じ品番のリニューアルバージョンがある場合、あるいは生産中止などの処理をする時に活用することができます。

オブジェクト検索

ターミナル オブジェクトを検索する方法は 2 つあります。 検索方法の詳細については、[データ テーブルの使用法 - 検索] ページで確認できます。

Seal

シールはコネクタやケーブルの連結部位を密封する部品で、防水や防塵などの保護機能を提供します。このトピックでは、シール パーツのワークスペース構成と主要な機能について説明します。 また、シールデータを生成、削除、修正、検索する方法も案内します。

作業スペース

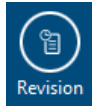
Part Number		Internal Number	Manufacturer	Description	Min. CSA	Max. CSA	Weight	Cost
1	1068-8006		DELPHI	SEAL 1.32x1.8x1.4 (DS)	1.9	2.41	0	0
2					2.3	2.5	0	
3	1347-4886		DELPHI	SEAL 1.81x1.2x1.4 (DS)	2.3	2.4	0	
4	8534-000112		DELPHI	SEAL 1.81x1.2x1.4 (DS)	1.4	1.8	0	
5	179-1271-PA3-B		ICI	SEAL 1.25x1.8x1.4 (DS)	1.4	1.9	0	
6	495-0		DELPHI	SEAL 1.8x1.8x1.8	1.4	2.9	0	
7	5-2234	5-2234			1	1	0	
8	368047-1		DELPHI	SEAL 2.0x1.8x1.8 (DS)	1.8	2.4	0	
9	172147-1		DELPHI	SEAL 2.0x1.8x1.8 (DS)	1.9	4.1	0	
10	8590-03001		ICI	SEAL	1.6	4.3	0	
11	1367-5818		DELPHI	SEAL 1.6x1.2x1.2 (V)	0	0	0	
12	1129-5504-00		DELPHI	SEAL 1.6x1.2x1.2 (DS)	1.5	0	0	
13	1367-5812		DELPHI	SEAL 1.6x1.2x1.2 (V)	0.63	1	0	
14	410018		DELPHI	SEAL 1.6x1.2x1.2 (V)	0	0	0	
15					2.5	2.9	0	
16	1832-4076		DELPHI	SEAL 1.6x1.2x1.2 (V)	1.6	2.15	0	
17	7181-20-04		DELPHI	2000 VORE SEAL(S) 1/8"	0	0	0	
18	87335-0279		ICI	SEAL 1/4x1/4x1/4 (V)	0	0	0	
19	1219-5800		DELPHI	SEAL 2.0x1.6x1.2 (DS)	1.29	1.7	0	
20	1219-1352		DELPHI	SEAL 2.0x1.6x1.2 (DS)	1.86	2.33	0	
21	30900-0005		DELPHI	SEAL 1.7x1.7x1.7 (V)	2.2	2.2	0	
22	85880004P-11		ICI	SEAL 1.7x1.7x1.7 (V)	1.6	1.8	0	
23					1.4	1.7	0	
24					2	2	0	
25	10449-9001		ICI	SEAL 1.7x1.7x1.7 (V)	1.2	1.4	0	
26	8534-000110		ICI	SEAL 1.7x1.7x1.7 (V)	1.4	1.7	0	
27	14900-407-070		ICI	SEAL 1.7x1.7x1.7 (V)	1.4	1.7	0	
28	1719-1223		DELPHI	SEAL 1.7x1.7x1.7 (V)	2.5	3.2	0	
29	1154-1172		DELPHI	SEAL 1.7x1.7x1.7 (V)	1.3	1.9	0	
30	7165-1231		DELPHI	SEAL 1.7x1.7x1.7 (V)	1	4.1	0	
31					1.8	2	0	

1. シールリスト現在登録されているシールのリストを照会することができ、シールを選択して編集することができます。
2. 主要機能シールの管理に必要な主要機能が配置された領域で、追加、修正、削除などの作業を簡単に行うことができます。各機能については、次の段落で詳しく説明します。

主要機能

シールパートで使用できる機能には次のものがあります。

-  **Delete (削除)**
選択した項目をリストから削除する機能で、不要なデータを削除できます。削除されたデータは回復できないため、慎重に使用する必要があります。もしデータを完全に削除する代わりに、今後使用できるように保管したい場合は、状態変更を通じて該当データを「使用しない」状態に設定することがより適切な方法です。ステータス変更の詳細については、[Seal - データの編集 - ステータスの変更] を参照してください。
-  **New (新たに追加)**
アクティブなパーツ タブで新しいオブジェクトを追加する機能です。これにより、ユーザーは新たに必要なアイテムをシステムに登録できます。
-  **インポート(持ってくる)**
既存のデータに外部からバックアップしておいたデータを追加する機能です。
Cadvisor内でExportにエクスポートされたファイルを読み込んでシステムに追加することができます。既存のデータはそのまま維持され、読み込んだファイルの内容が既存のデータに追加またはマージされます。
-  **Replace (交換)**
既存のデータをすべて削除し、新しいファイルに置き換える機能です。Cadvisor内でExportに送信したファイルを読み込み、システムに保存されたデータを新しいリストやデータに完全に置き換えることになり、既存のデータは復旧できません。既存のデータは回復できないため、新しいデータを適用する場合に使用します。
-  **エクスポート(出す)**
エクスポートは、システム内のデータを外部ファイルにエクスポートする機能です。データをバックアップしたり、別のシステムに転送したりする用途で使用されます。エクスポートされたファイルは、インポート機能やReplace機能を介して再度読み込むことができます。



■ Revision (リビジョン管理)

選択されたオブジェクトの修正履歴(リビジョン)を確認できる機能で、各修正事項に対する情報を追跡・管理することができます。修正された日付、修正した人、修正タイプ (Modify、Create、Delete)、説明、総リビジョン数などを確認することができ、日付の左側の+ボタンをクリックすると、データ変更履歴(Before Data, After Data)を詳細に確認することができます。

Revision				
Date	Author	Action	Description	Total Revision
2024-07-09	KJW5774	Modify		4
Detail Revision List				
Action	Type	Before Data	After Data	
Modify	Seal-PartNumber		512354	
Modify	Seal-InternalNumber		512354	
Modify	Seal-CSAMin	0	1	
Modify	Seal-CSAMax	0	1	



■ Hide/Show (隠す/見える)

メインタブを非表示または再表示する機能で、作業中の画面要素を最小化し、作業スペースを効率的に管理するときに使用します。

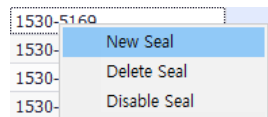
データ編集

シール データを生成、修正、削除、ステータス変更、検索操作を行うことができます。まず、シールオブジェクトを生成する方法から始め、各データ編集機能を段階的に案内します。

オブジェクト作成

オブジェクトを生成する方法は 2 つあります。

- マウスの右クリックによるオブジェクト生成ワークスペースで
オブジェクトを生成するには、データリストでマウスを右クリックしてポップアップメニューを開きます。メニューから [New Seal] を選択すると、オブジェクト生成ポップアップが表示されます。



- 下段メニューを通じたオブジェクト生成下段の

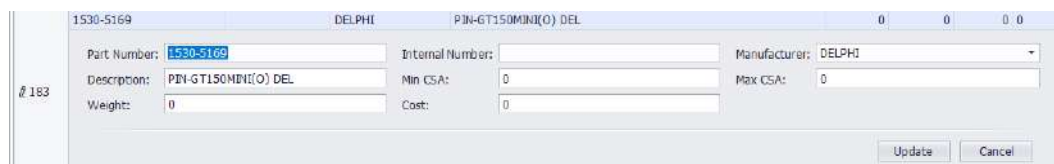
メニューで、[New ]ボタンをクリックすると、同じオブジェクト生成ポップアップが開きます。

新しいシールを登録するには、必須入力値を入力する必要があります。 必須入力値にはPart Number、Internal Number、Cross Section Area (Min/Max)が含まれます。 各フィールドの詳細については、[部品別フィールド情報 - Seal] ページを参照してください。

Cross Section Area (CSA) は、該当シールが使用できるワイヤの範囲を指定する値です。 この値は、製造図面 (MFG) でコネクタとシールを連携する際に正しいワイヤを選択できるようにフィルタリングするために使用されます。

オブジェクト修正

オブジェクトを修正するには、修正したいアイテムをダブルクリックしてデータ修正ウィンドウを開きます。 修正後、更新ボタンをクリックして変更を保存します。 Part Numberは、他のオブジェクトと重複しないように設定する必要があり、重複した値がある場合は保存されません。

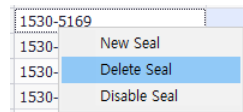


オブジェクト削除

オブジェクトの削除には 2 つの方法が使用できます。

- マウスの右クリックによるオブジェクト削除データ
リストから削除したい項目を右クリックすると、ポップアップメニューが開きます。ポップアップメニューから [Delete Seal] を選択すると、削除確認メッセージウィンドウが表示されます。

"はい" ボタンをクリックすると、そのオブジェクトが削除されます。

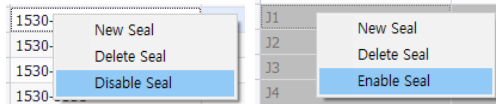


- 下段メニューを通じたオブジェクト削除
する項目を選択し、下段メニューで[Delete]ボタンをクリックすると、同じ削除確認メッセージウィンドウが表示されます。  "はい" ボタンをクリックすると、選択したオブジェクトが削除されます。

状態変化

オブジェクトの状態を変更するには、変更するデータを選択し、マウスを右クリックして表示さ

れるポップアップメニューから設定できます。該当オブジェクトがまだ使用可能な状態であれば、[Disable Seal]オプションが表示され、選択すると非使用状態に変更されます。逆に、すでに非使用処理されたオブジェクトの場合、[Enable Seal] オプションが表示され、これを選択すると、再び使用可能な状態に変更できます。



非使用処理されたデータはリストの一番下に並べられ、そのデータの背景色がグレーに変更されます。これにより、未使用のデータを区別できます。この機能は、使用されなくなったデータや、同じ品番のリニューアルバージョンがある場合、あるいは生産中止などの処理をする時に活用することができます。

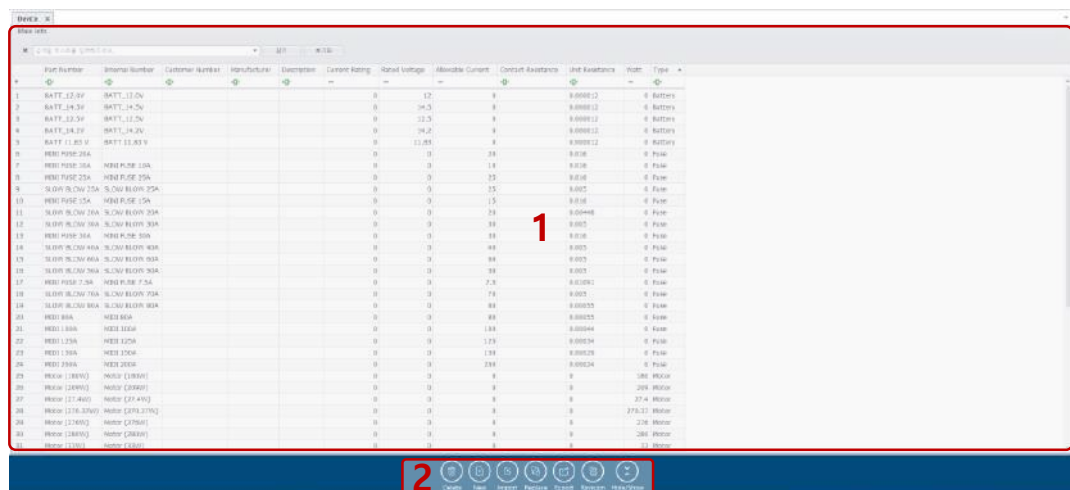
オブジェクト検索

ターミナル オブジェクトを検索する方法は 2 つあります。検索方法の詳細については、[データ テーブルの使用法 - 検索] ページで確認できます。

Device

Device(デバイス)は電気回路で特定の機能を遂行する装置で、多様な電子装備や機械装備を制御するのに使われます。この項目では、デバイス パーツのワークスペース構成と主要機能を説明し、デバイス データを生成、削除、修正、検索する方法を案内します。

作業スペース



1. デバイス リスト現在登録されているデバイスのリストを照会でき、デバイスを選択して編集できます。

2. 主要機能デバイスの管理

に必要な主要機能が配置された領域で、追加、修正、削除などの作業を簡単に行うことができます。各機能については、次の段落で詳しく説明します。

主要機能

デバイス パーツで使用できる機能には、次のものがあります。



選択した項目をリストから削除する機能で、不要なデータを削除できます。削除されたデータは回復できないため、慎重に使用する必要があります。もしデータを完全に削除する代わりに、今後使用できるように保管したい場合は、状態変更を通じて該当データを「使用しない」状態に設定することがより適切な方法です。ステータスの変更の詳細については、[Device - データの編集 - ステータスの変更] を参照してください。



アクティブなパーツ タブで新しいオブジェクトを追加する機能です。これにより、ユーザーは新たに必要なアイテムをシステムに登録できます。



既存のデータに外部からバックアップしておいたデータを追加する機能です。Cadvisior内でExportにエクスポートされたファイルを読み込んでシステムに追加することができます。既存のデータはそのまま維持され、読み込んだファイルの内容が既存のデータに追加またはマージされます。

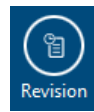


既存のデータをすべて削除し、新しいファイルに置き換える機能です。Cadvisior内でExportに送信したファイルを読み込み、システムに保存されたデータを新しいリストやデータに完全に置き換えることになり、既存のデータは復旧できません。既存のデータは回復できないため、新しいデータを適用する場合に使用します。



エクスポートは、システム内のデータを外部ファイルにエクスポートする機能です。データをバックアップしたり、別のシステムに転送したりする用途で使用されます。エクスポートされたファイルは、インポート機能やReplace機能を介して再度読み込む

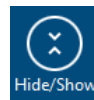
ことができます。



■ Revision (リビジョン管理)

選択されたオブジェクトの修正履歴(リビジョン)を確認できる機能で、各修正事項に対する情報を追跡・管理することができます。修正された日付、修正した人、修正タイプ (Modify、Create、Delete)、説明、総リビジョン数などを確認することができ、日付の左側の+ボタンをクリックすると、データ変更履歴(Before Data, After Data)を詳細に確認することができます。

Revision				
Date	Author	Action	Description	Total Revision
2023-05-16	lmh	Modify		2
Detail Revision List				
Action	Type	Before Data	After Data	
Modify	Device-UnitResistance	0	0.000012	
Modify	Device-Type		Battery	



■ Hide/Show (隠す/見える)

メインタブを非表示または再表示する機能で、作業中の画面要素を最小化し、作業スペースを効率的に管理するときに使用します。

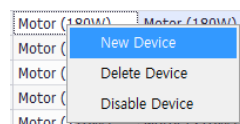
データ編集

デバイス データを生成、修正、削除、ステータス変更、検索操作を行うことができます。まず、デバイス オブジェクトを作成する方法から始め、各データの編集機能を段階的に案内します。

オブジェクト作成

オブジェクトを生成する方法は 2 つあります。

- マウスの右クリックによるオブジェクト生成ワークスペースで
オブジェクトを生成するには、データリストでマウスを右クリックしてポップアップメニューを開きます。メニューから [New Device] を選択すると、オブジェクト生成ポップアップが表示されます。



- 下段メニューを通じたオブジェクト生成下段の

メニューで、[New ]ボタンをクリックすると、同じオブジェクト生成ポップアップが開きます。

新しいデバイスを登録するには、必須入力値を入力する必要があります。 必須入力値と追加情報を入力し、確認ボタンをクリックするとデバイスが生成されます。 必須入力値にはPart Number、Internal Number、Typeが含まれます。 各フィールドの詳細については、[部品別フィールド情報 - Device] ページを参照してください。

Device Type

Deviceで使用するTypeは、既存のリストから選択することもできますし、直接入力して新しく追加することもできます。 リストにないタイプを使用するには、生成ウィンドウで目的の値を入力するだけです。 主にLogicで図面設計と連携する項目であり、代表的なTypeは次のとおりです。

■ Motor(モーター)

電気エネルギーを機械的エネルギーに変換する装置です。 一般的にDCモーター、ACモーター、ステッパモーター、サーボモーターなどの種類があり、それぞれ異なる速度制御およびトルク特性を持っています。 電装設計では、ファン、ポンプ、アクチュエータなどに使用されます。

■ Relay(リレー)

低い電圧/電流の信号で高い電圧/電流の回路を制御できるようにする電子式スイッチです。 リレーを使えば高電圧負荷を安全に制御でき、機械式リレー、ソリッドステートリレー(SSR)などがあります。

■ Fuse(ヒューズ)

回路で過電流を検知して電源を遮断する保護装置です。 一定の電流以上が流れると、内部の金属線が溶けて回路が短絡しないように保護する役割をします。 1回限りのパーツなので、1回の動作で交換する必要があります。

■ Switch (スイッチ)

回路の電源を入れたり切ったりできる装置です。 トグルスイッチ、プッシュボタンスイッチ、ロータリースイッチなど様々な形態があり、機械的または電子式(半導体スイッチ)方式で作動します。

■ GND(Ground、接地)

電気回路で基準電位(0V)を設定し、ノイズを防止する役割をします。 接地は大きく安全接地(電流漏れ防止)、信号接地(信号干渉最小化)に分けられます。 車両や電化製品では**シャーシグラウンド(車体接地)**が多く使われます。

■ Power (電源、電力供給)

回路に必要な電力を供給する部分で、バッテリー、アダプター、電源供給装置(PSU)などが含まれます。 電源は一般的にDC(直流、5V/12V/24Vなど)またはAC(交流、220V/110Vなど)の形で提供されます。

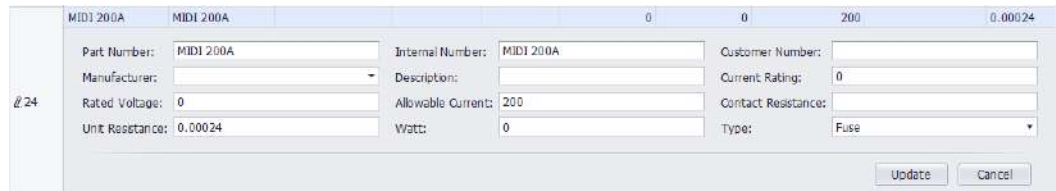
■ Resistor(抵抗、Resistor)

電流の流れを制限して電圧を調整したり、回路の安定性を維持する役割をします。 固

定抵抗、可変抵抗（可変抵抗器、ポテンシオメータ）などがあり、単位はオーム（ Ω ）で表されます。

オブジェクト修正

オブジェクトを修正するには、修正したいアイテムをダブルクリックしてデータ修正ウィンドウを開きます。修正後、更新ボタンをクリックして変更を保存します。Part Numberは、他のオブジェクトと重複しないように設定する必要があり、重複した値がある場合は保存されません。



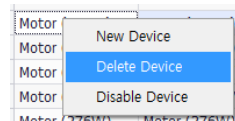
オブジェクト削除

オブジェクトの削除には 2 つの方法が使用できます。

■ マウスの右クリックによるオブジェクト削除データ

リストから削除したい項目を右クリックすると、ポップアップメニューが開きます。ポップアップメニューから [Delete Device] を選択すると、削除確認メッセージウィンドウが表示されます。

"はい" ボタンをクリックすると、そのオブジェクトが削除されます。

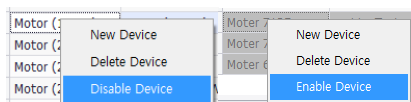


■ 下段メニューを通じたオブジェクト削除

する項目を選択し、下段メニューで[Delete]ボタンをクリックすると、同じ削除確認メッセージウィンドウが表示されます。  "はい" ボタンをクリックすると、選択したオブジェクトが削除されます。

状態変化

オブジェクトの状態を変更するには、変更するデータを選択し、マウスを右クリックして表示されるポップアップメニューから設定できます。該当オブジェクトがまだ使用可能な状態であれば、[Disable Device] オプションが表示され、選択すると非使用状態に変更されます。逆に、すでに非使用処理されたオブジェクトの場合、[Enable Device] オプションが表示され、これを選択すると、再び使用可能な状態に変更できます。



非使用処理されたデータはリストの一番下に並べられ、そのデータの背景色がグレーに変更されます。これにより、未使用のデータを区別できます。この機能は、使用されなくなったデータ

や、同じ品番のリニューアルバージョンがある場合、あるいは生産中止などの処理をする時に活用することができます。

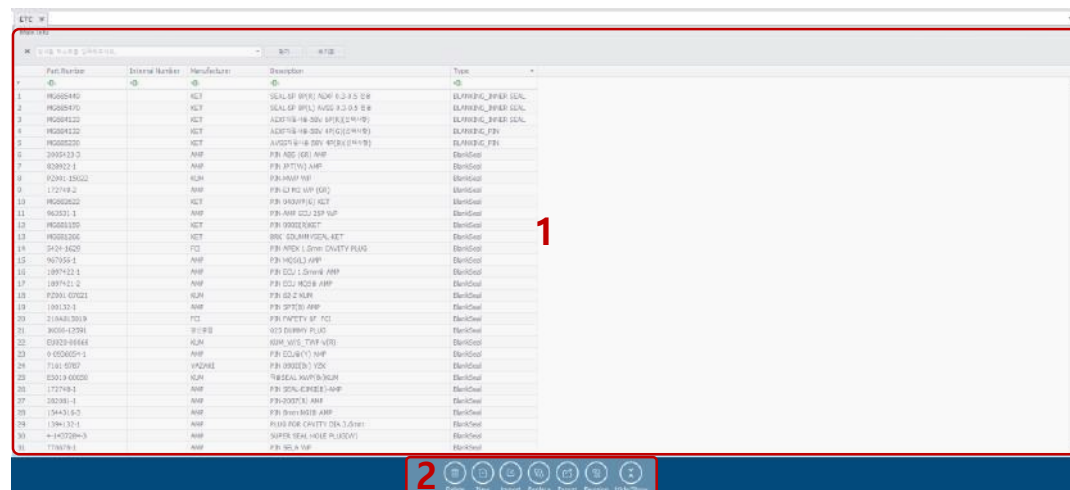
オブジェクト検索

ターミナル オブジェクトを検索する方法は 2 つあります。 検索方法の詳細については、[データ テーブルの使用法 - 検索] ページで確認できます。

ETC

ETC(その他の部品)はSeal、Terminal、Wire、Connector、Device以外の部品を登録する機能を提供します。 ユーザーは、自分でパーツ タイプを指定して、さまざまなパーツを管理できます。 このパートでは、ETCデータを生成、削除、修正、検索する方法を案内します。

作業スペース



1. ETCリスト現在登録されているETCのリストを照会することができ、ETCを選択して編集することができます。
2. 主要機能
ETC管理に必要な主要機能が配置された領域で、追加、修正、削除などの作業を簡単に行うことができます。 各機能については、次の段落で詳しく説明します。

主要機能

ETCパートで使用できる機能には次のものがあります。

-  **Delete (削除)**

選択した項目をリストから削除する機能で、不要なデータを削除できます。削除されたデータは回復できないため、慎重に使用する必要があります。もしデータを完全に削除する代わりに、今後使用できるように保管したい場合は、状態変更を通じて該当データを「使用しない」状態に設定することがより適切な方法です。ステータスの変更の詳細については、[ETC - データの編集 - ステータスの変更] を参照してください。
-  **New (新たに追加)**

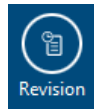
アクティブなパーツ タブで新しいオブジェクトを追加する機能です。これにより、ユーザーは新たに必要なアイテムをシステムに登録できます。
-  **インポート(持ってくる)**

既存のデータに外部からバックアップしておいたデータを追加する機能です。Cadvisor内でExportにエクスポートされたファイルを読み込んでシステムに追加することができます。既存のデータはそのまま維持され、読み込んだファイルの内容が既存のデータに追加またはマージされます。
-  **Replace (交換)**

既存のデータをすべて削除し、新しいファイルに置き換える機能です。Cadvisor内でExportに送信したファイルを読み込み、システムに保存されたデータを新しいリストやデータに完全に置き換えることになり、既存のデータは復旧できません。既存のデータは回復できないため、新しいデータを適用する場合に使用します。
-  **エクスポート(出す)**

エクスポートは、システム内のデータを外部ファイルにエクスポートする機能です。データをバックアップしたり、別のシステムに転送したりする用途で使用されます。エクスポートされたファイルは、インポート機能やReplace機能を介して再度読み込む

ことができます。



■ Revision (リビジョン管理)

選択されたオブジェクトの修正履歴(リビジョン)を確認できる機能で、各修正事項に対する情報を追跡・管理することができます。 修正された日付、修正した人、修正タイプ (Modify、Create、Delete)、説明、総リビジョン数などを確認することができ、日付の左側の+ボタンをクリックすると、データ変更履歴(Before Data, After Data)を詳細に確認することができます。

Revision				
Date	Author	Action	Description	Total Revision
2025-03-20	KJWS774	Modify		1
2025-03-20	KJWS774	Modify		2
Detail Revision List				
Action	Type	Before Data	After Data	
Modify	ETC-PartNumber	2005423-3	2005423-4	
Modify	ETC-InternalNumber	2005423-3	2005423-4	



■ Hide/Show (隠す/見える)

メインタブを非表示または再表示する機能で、作業中の画面要素を最小化し、作業スペースを効率的に管理するときに使用します。

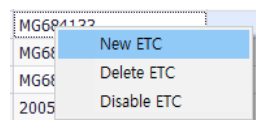
データ編集

ETCデータを生成、修正、削除、ステータス変更、検索作業を行うことができます。 まず、ETCオブジェクトを生成する方法から始め、各データ編集機能を段階別に案内します。

オブジェクト作成

オブジェクトを生成する方法は 2 つあります。

- マウスの右クリックによるオブジェクト生成ワークスペースで
オブジェクトを生成するには、データリストでマウスを右クリックしてポップアップメニューを開きます。 メニューから [New ETC] を選択すると、オブジェクト生成ポップアップが表示されます。

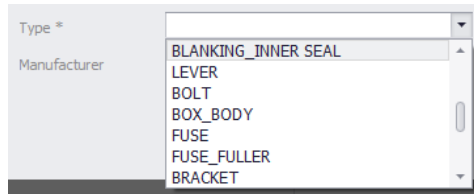


- 下段メニューを通じたオブジェクト生成下段の

メニューで、[New ]ボタンをクリックすると、同じオブジェクト生成ポップアップが開きます。

新しいオブジェクトを登録するには、必須入力値を入力する必要があります。 必須入力値と追加情報を入力し、確認ボタンをクリックするとオブジェクトが生成されます。 必須入力値には Part Number、Internal Number、Typeが含まれます。 各フィールドの詳細については、[部品別フィールド情報 - ETC] ページを参照してください。

ETC Type



ETCで使用するTypeは、ユーザーが直接入力することもできますし、既存のリストから選択することもできます。 リストにないタイプを使用するには、生成ウィンドウで直接入力するだけです。 基本的に提供される項目は、MFGで副資材の追加機能と連携した項目で、以下のような項目が含まれます。

■ ジグ(Jig)

特定の部品を正確な位置に配置または加工するときを使用される補助ツールです。 配線組立時にケーブルを一定の位置に固定したり、組立工程で一定の間隔と方向を維持する役割をします。

■ チューブ

電線やケーブルを保護するためにかぶせる円筒形素材です。 熱収縮チューブ(Heat Shrink Tube)は、熱を加えると収縮して電線をしっかりと包み込み、絶縁および保護の役割をします。

■ クリップ(Clip)

配線や部品の固定に使用する小さな固定装置です。 電線が動かないようにしたり、特定の位置で安定的に固定されるようにサポートします。 プラスチック、金属など様々な材質で提供されます。

■ グロメット/プロテクター(Grommet/Protector)

電線やケーブルが金属やプラスチックの角などによって損傷するのを防ぐために使用する保護装置です。 グロメットは穴を通して電線を通す際に絶縁および保護機能を果たし、プロテクターは配線が通る部分を包み込んで保護する役割をします。

■ テープ(Tape)

さまざまな作業で活用され、主に配線保護や識別の用途で使用されます。 種類によって機能が異なります。

- クロステープ(Cross Tape)

電線が交差する部分を固定するために使用されます。一般的に強い接着力を持ち、電線が外れないように維持する役割を果たします。

- マーキングテープ(Marking Tape)配線の特定区間を表示したり、部品を識別する用途で使用されます。
。 カラー別に区分して特定の信号や役割を付与するのに活用されます。
- 束テープ(Bundling Tape)複数
の電線を一つにまとめて結ぶときに使用されます。 テープ状のケーブルタイのように働き、メンテナンス時に簡単に取り外すことができる特徴があります。

■ コネクタ部材

電気信号や電力を伝送する重要な部品であるコネクタ(Connector)を補助し、機能を補完する様々な副資材が使われ、結合力強化、防水、保護、絶縁、整列、固定などの役割をします。 よく使う副資材の種類は次の通りです。

- Blank Seal(ブランクシール)
使用しないキャビティ(Cavity、ピン挿入空間)を防ぎ、ホコリ、湿気、異物が流入するのを防止する役割をします。 防水性能が重要な環境で必須的に使用されます。
- Cover(カバー)
コネクタの端子(ターミナル)および内部回路を保護するカバーの役割をします。 外部衝撃、汚染物、湿気からコネクタを保護し、特定のモデルでは防水機能を含むこともあります。
- Lever (レバー)
の一部のコネクタでは、レバーを使用して結合時の締結力を強化することができます。 レバーを回すと締まりが簡単で確実になり、外す時も力が入りにくように設計された構造です。
- Retainer (リテーナー)
ターミナル (端子) が正しく固定されるように補助する部品です。 コネクタ内部で端子が欠けたり揺れたりするのを防ぎ、安定した信号伝達と電力供給を可能にします。

オブジェクト修正

オブジェクトを修正するには、修正したいアイテムをダブルクリックしてデータ修正ウィンドウを開きます。 修正後、更新ボタンをクリックして変更を保存します。 Part Numberは、他のオブジェクトと重複しないように設定する必要があり、重複した値がある場合は保存されません。

MG684133	KET	AEXF재질사용-58V 6P(R)(선택사항)	BLANKING_INNER SEAL
Part Number: MG684133	Internal Number:	Manufacturer: KET	
Description: AEXF재질사용-58V 6P(R)(선택사항)	Type: BLANKING_INNER SEAL		

Update Cancel

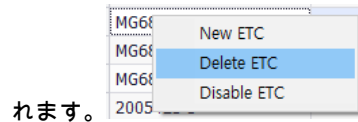
オブジェクト削除

オブジェクトの削除には 2 つの方法が使用できます。

■ マウスの右クリックによるオブジェクト削除データ

リストから削除したい項目を右クリックすると、ポップアップメニューが開きます。

ポップアップメニューから [Delete ETC] を選択すると、削除確認メッセージウィンドウが表示されます。"はい" ボタンをクリックすると、そのオブジェクトが削除さ



れます。

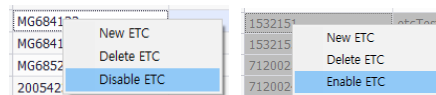
■ 下段メニューを通じたオブジェクト削除削除

する項目を選択し、下段メニューで[Delete]ボタンをクリックすると、同じ削除確認メ

ッセージウィンドウが表示されます。  "はい" ボタンをクリックすると、選択したオブジェクトが削除されます。

状態変化

オブジェクトの状態を変更するには、変更するデータを選択し、マウスを右クリックして表示されるポップアップメニューから設定できます。該当オブジェクトがまだ使用可能な状態であれば、[Disable ETC] オプションが表示され、選択すると非使用状態に変更されます。逆に、すでに非使用処理されたオブジェクトの場合、[Enable ETC] オプションが表示され、これを選択すると、再び使用可能な状態に変更できます。



非使用処理されたデータはリストの一番下に並べられ、そのデータの背景色がグレーに変更されます。これにより、未使用のデータを区別できます。この機能は、使用されなくなったデータや、同じ品番のリニューアルバージョンがある場合、あるいは生産中止などの処理をする時に活用することができます。

オブジェクト検索

ETCオブジェクトを検索する方法は2つあります。検索方法の詳細については、[データ テーブルの使用法 - 検索] ページで確認できます。

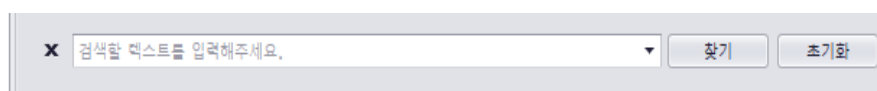
データテーブルの使い方

検索

データ テーブルを利用したオブジェクトを検索する方法は 2 つあります。一つ目は全体検索で、すべてのカラムを対象に入力したテキストが含まれたデータを検索した後、該当するデータを表示する方式です。2番目はフィールド別検索で、特定のカラムを指定して希望する条件に合ったデータだけを検索する方式です。また、検索時にさまざまな条件を設定することができ、より精密な検索が可能です。

フル検索

全体検索は、上部の検索ウィンドウを利用してデータベース内のすべての項目を検索する機能です。検索バーにテキストを入力すると、フィールドに関係なく、そのテキストを含むすべてのデータがフィルタリングされて表示されます。もし検索ウィンドウが表示されない場合は、Ctrl+Fキーを押して有効にすることができます。



フィールド別検索

フィールドごとに検索する方法は2つあります。直接テキストを入力して検索する検索窓を利用した方法、ドロップボックスリストの中から選択してフィルタリングするフィルターボックスを利用した方法。

■ 検索窓を利用した検索項目

(フィールド)別検索窓はリストのヘッダーの下に位置し、希望する値を入力すると、該当データを検索することができます。

- 文字データ: 基本的に、入力したテキストを含むデータを検索 (含む検索) します。
- 数値データ: 入力した値と正確に一致するデータのみを検索 (一致検索) します。

また、検索窓の横にある検索条件アイコンをクリックすると、さまざまな検索条件を選択できます。検索オプションの詳細については、次の [フィルター オプション] 項目で確認できます。

Part Number	Internal Number	Customer Number	Series	Manufacturer

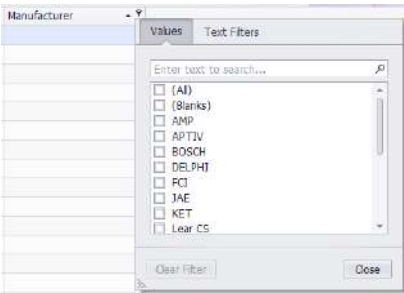
■ フィルターボックスを利用した検索各列(フィールド)でマウスを上げると、右上にフィルターアイコンが表示されます

- 。 このアイコンをクリックすると、フィルター ボックスが表示され、次のような方

法で検索できます。

- Valueタブ:現在のリストに表示されている値の中から特定の値を選択してフィルタリングします。
- Filtersタブ:データタイプ（文字、数字）に応じて、より精密なフィルタリングオプションを提供します。

フィルタリング オプションの詳細については、次の [フィルター オプション] 項目で確認できます。



■ 検索オプション

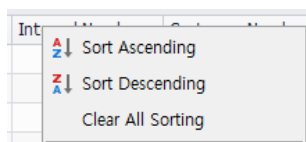
データ テーブルでの検索オプションです。 目的の条件を選択すると、より細かくデータをフィルタリングできます。

検索条件		説明
 Equals		入力した値と正確に一致するデータ検索
 Dose not equal		入力した値と一致しないデータ検索
 Is like		特定のパターンに一致するデータを検索 (特殊文字_、%使用可能) _: 一文字置き換え、例: "A_n" → "Ann", "Ain" %: 複数文字代替、例: "A%n" → "Ann", "Aaron"
 Is not like		特定のパターンと一致しないデータ検索
 Contains		入力した値を含むデータ検索
 Does not contain		入力した値を含まないデータ検索
 Begins with		入力した値で始まるデータ検索
 Ends with		入力した値で終わるデータ検索

>	Is greater than	入力した値より大きいデータ検索(文字も辞書順に比較可能)
≥	Is greater than or equal to	入力した値以上のデータを検索
<	Is less than	入力した値より小さいデータ検索
≤	Is less than or equal to	入力した値より小さいか同じデータ検索

整列

データテーブルでソート機能を使用すると、希望する基準に従ってデータを昇順または降順に整理することができます。列のヘッダーをクリックするとデフォルトの並べ替えが適用され、もう一度クリックすると並べ替えの方向が変更されます。また、並べ替える列のヘッダーで右クリックすると、Sort Ascending(昇順並べ替え)、Sort Descending(降順並べ替え)、Clear All Sorting(並べ替え解除)オプションを選択して並べ替えを設定することもできます。



カスタムビュー

カスタムビュー機能を利用すると、好きな形でテーブルを構成して使用することができます。列の順序を変更したり、列のサイズを調整したりすることができ、表示する列を選択して画面をパーソナライズしたりできます。

- **列の順序を変更したい列をクリックし、目的の位置にドラッグ アンド ドロップして位置を調整します。**

■ 列のサイズ調整

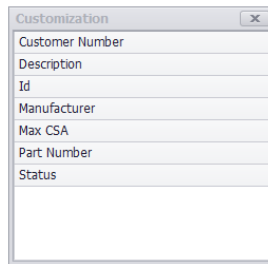
列と列の境界をドラッグすることで、サイズを調整できます。また、列で右クリックし、Best Fit (選択した列の自動調整) または Best Fit (All Columns) (すべての列の自動調整) を選択すると、内容に合わせて最適化されます .

■ 列表示設定

の特定の列を非表示にするには、その列をデータテーブルの外にドラッグするか、列を右クリックして Hide This Column を選択するだけです。

非表示列を再度追加するには、ヘッダーで右クリックし、Column Chooser をクリックすると、非表示列のリストが表示され、必要な列をドラッグして復元すること  ことができます。

。



グループ照会

グループ照会機能を活用すると、データを特定の基準でまとめ、より体系的に整理することができます。グループ化されたデータを希望の方法で並べ替えたり、複数のグループを組み合わせにより詳細に照会したりすることもできます。

- **データグループ化**の特定の基準でデータをグループ化するには、目的の列をマウスでグループパネルにドラッグするか、列を右クリックして

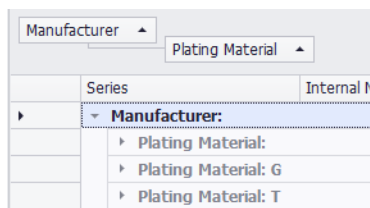
Group **By This Column**を選択  するだけです。グループパネルが見えない場合、列ヘッダーで右クリックし、Show Group By Boxを  選択して有効にすることができます。

- **グループ解除**グループを解除するには、グループパネルの列を元の位置にドラッグするか、列で右クリックして

Un **Group**を選択するだけです 。すべてのグループを一度に解除するには、グループパネルで右クリックしてClear Groupingを  選択するだけです。

- **複数の列の複数の列**の列を同時にグループ化することができ、グループパネル内で列の順序を変更して、グループ化基準の優先順位を調整することもできます

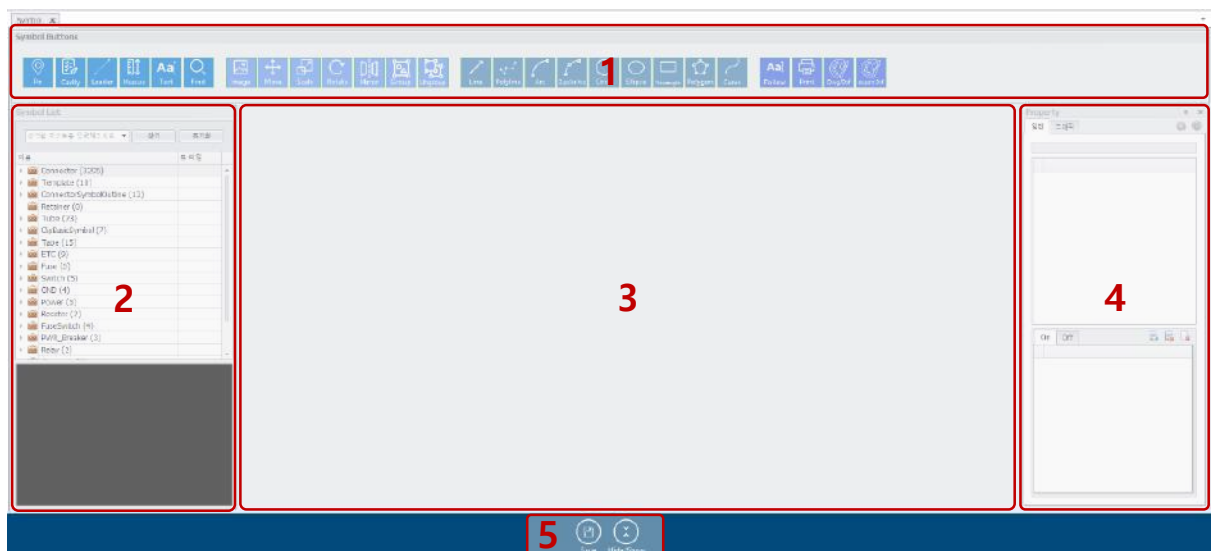
。



シンボル

2

作業スペース



1. 図面作業機能ユーザーが図面を作業する際に必要な様々な機能を提供します。
。 これらの機能により図面の編集および印刷が可能であり、各機能の詳細な説明は[シンボル - シンボル図面の編集]で確認できます。
2. シンボル図面リスト登録された
シンボルリストを表示する項目です。 このリストから必要なシンボルを有効にすることができ、シンボルを作成、編集、削除することができます。 カテゴリを追加してシンボルを区切ることができ、下段にシンボルプレビューが表示されます。
3. シンボル図面編集スペースシンボルリストから項目を選択すると、その図面が表示されます。
。 これにより、関連図面を確認して作業を進めることができます。

4. プロパティ タブシンボルのプロパティを確認できるタブです。
。 選択したオブジェクトによって表示される内容が異なり、各オブジェクトに関する情報を提供します。
5. 保存およびメインタブを非表示/表示が有効になっている図面を保存する機能と、
メインタブを表示または非表示にすることができる機能です。 作業環境を柔軟に調整できます。

カテゴリー

カテゴリーは、シンボルを分類するために使用されます。 これにより、ユーザーはさまざまなシンボルをグループ化して管理できます。 例えば、コネクタ、テンプレート、副資材、デバイス内部の設計に必要なヒューズ素子などの項目がカテゴリーに分類されます。

カテゴリー作成

1. シンボル リストから右クリックすると、シンボル
リストの空きスペースから右クリックするか、既存のカテゴリーを選択して右クリックします。

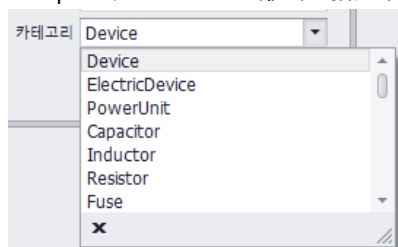


2. カテゴリーの追加を選択する右クリック
メニューで、カテゴリーの追加をクリックします。

3. カテゴリー名設定を作成する
カテゴリーの名前を入力します。



4. カテゴリー型の指定カテゴリー リストから、そのカテゴリーの形式を選択します。
。 形式は、カテゴリー内に含まれるシンボルの種類によって異なります。 例えば、Connector、Template、Fuseなどの形式を指定することができます。



カテゴリ削除

カテゴリを削除すると、そのカテゴリに属する図面は復元できないため、慎重に進める必要があります。

1. 削除するカテゴリ選択シンボル
リストから削除するカテゴリをクリックします。
2. 右クリック メニューを開く 選択した
カテゴリで右クリックします。
3.  カテゴリの削除選択メニューで
、カテゴリの削除をクリックすると、そのカテゴリが削除されます。

テンプレート

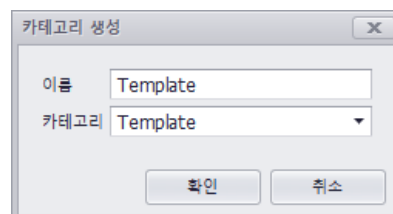
テンプレートは、LogicやMFGで図面のテンプレートをあらかじめ設定して使用できる機能です。 ユーザーはページサイズ別に様々なテンプレートを作成しておき、図面を作成する際に必要なテンプレートを適用して作業を進めることができます。 これにより、図面作成時の繰り返しの設定操作を減らし、一貫した形式で図面を管理できます。

テンプレート作成

テンプレート図面は、2 つの方法で作成できます。 一つはCADvizerが提供する機能を使用して新しいテンプレートを作成する方法で、もう一つは既存のテンプレート様式があれば、既存のテンプレートを読み込んで生成する方法です。

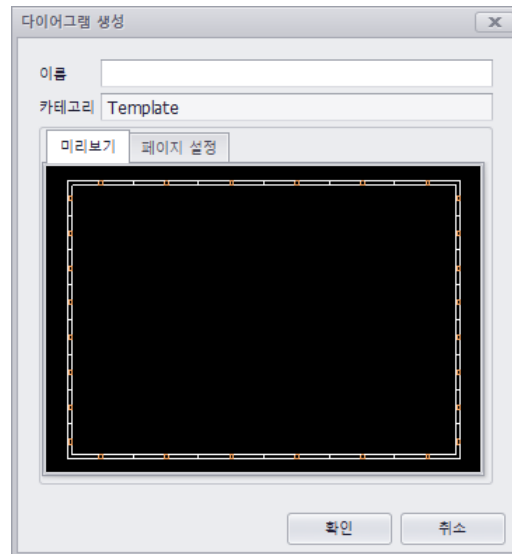
■ CADvizerが提供する機能を使用して新しいテンプレートを作成

1. テンプレート カテゴリをクリックし、右クリックして
テンプレート カテゴリをクリックし、右クリックしてダイアグラムの追加を選択します
 テンプレート図面を生成するには、カテゴリ タイプがTemplateである必要があります。



2. テンプレート作成ウィンドウ ダイアグラム

を追加した後、テンプレート作成ウィンドウが表示されます。ここで、ダイアグラム名を入力します。



3. 페이지設定ページ

のサイズをドロップダウンメニューから選択するか、Customを選択してユーザ指定サイズを設定することができます。ページの向きを縦または横に設定します。

페이지	A3	단위	mm
페이지 형태	☒ 가로로 길게 ☐ 세로로 길게		
크기	297	X	420
	그리드 간격		2

4.ゾーン設定テンプレートのゾーンを設定します

。ゾーンの数と開始文字を設定します。

가로 구역 수	6	시작 문자	A
세로 구역 수	8	시작 문자	1

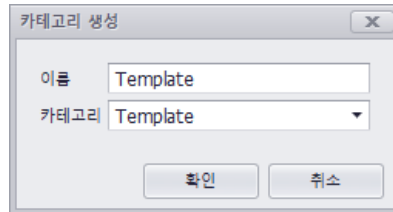
5. 枠線の設定枠の厚さを決定し、

枠線を表示しない場合は、枠線表示チェックボックスを解除します。

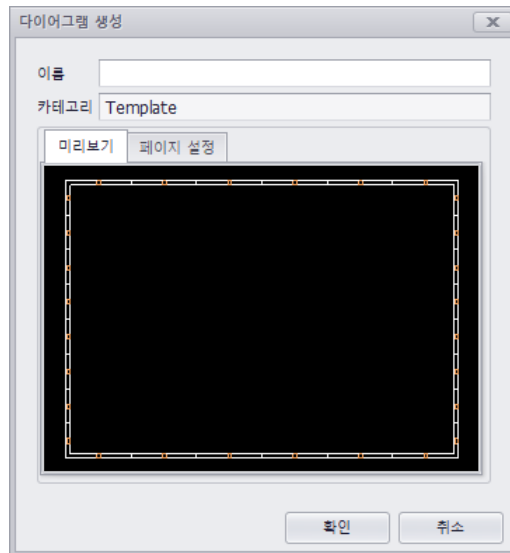
테두리 두께	5
테두리 선 표시	☒

■ 既存のテンプレートのインポート

1. テンプレート カテゴリをクリックし、右クリックしてテンプレート カテゴリをクリックし、右クリックしてダイアグラムの追加を  選択します。テンプレート図面を生成するには、カテゴリ タイプがTemplateである必要があります。



2. テンプレート作成ウィンドウ ダイアグラムの追加した後、テンプレート作成ウィンドウが表示されます。ここで、ダイアグラム名を入力し、確認ボタンをクリックします。



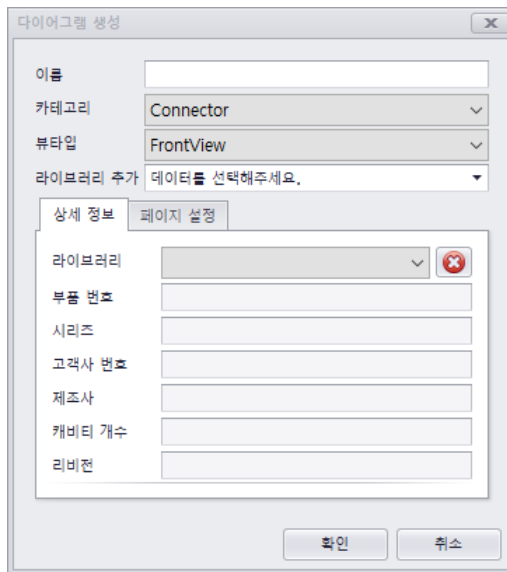
3. ダイアグラム生成の新しいテンプレートを生成すると、デフォルトのテンプレート オブジェクトが自動的に生成されます。
これらのオブジェクトはすべて削除する必要があり、オブジェクトをドラッグして削除するか、Ctrl + Aを押してすべて選択して削除することができます。
4. Dwg/Dxfファイルインポート
Dwg/Dxfファイルインポート機能を使用して、既存のテンプレートファイルを読み込みます。
5. 図面の追加と保存 既存
のテンプレートを読み込んだ後、必要な部分を追加して保存します。

シンボル図面

このセクションでは、シンボル図面を作成し、ライブラリに登録して管理する方法について説明します。シンボルのカテゴリーによって必須設計要素が異なり、コネクタはキャビティ設計、デバイスはピン設計が必須です。 まず、シンボル図面を生成する方法を見てみましょう。

図面作成

1. カテゴリーを選択し、右クリック カテゴリーを選択し、右クリックしてダイアグラムの追加を  クリックすると、生成ウィンドウが表示されます。



The image shows a 'Symbol Generation' (다이아그램 생성) dialog box. It has a title bar with a close button. Inside, there are several input fields and dropdown menus. The 'Name' (이름) field is empty. The 'Category' (카테고리) dropdown is set to 'Connector'. The 'View Type' (뷰타입) dropdown is set to 'FrontView'. Below these, there is a 'Library Add' (라이브러리 추가) section with a dropdown menu showing '데이터를 선택해주세요.' and a red 'X' button. At the bottom, there are two tabs: '상세 정보' (Detailed Information) and '페이지 설정' (Page Settings). The '상세 정보' tab is active, showing fields for 'Library' (라이브러리), 'Part Number' (부품 번호), 'Series' (시리즈), 'Customer Number' (고객사 번호), 'Manufacturer' (제조사), 'Cavity Count' (캐비티 개수), and 'Revision' (리비전). At the bottom right, there are '확인' (Confirm) and '취소' (Cancel) buttons.

2. 名前入力生成
ウィンドウで、ダイアグラム名を入力します。
3. ビュータイプの設定を作成するビュータイプを選択します
。 ビュータイプは、FrontView、SideView、TopViewから選択できます。 デフォルト値はFrontViewで設定されます。
4. ライブラリの追加ダイアグラム作成時に、ライブラリの追加
を事前に行うことができます。 ライブラリの追加については、[シンボル – シンボル図面 – ライブラリ] を参照してください。
5. 図面を描く図面を生成した後、図面を描く方法は[
シンボル-シンボル図面の編集]機能を活用して図面を描くことができます。

ライブラリー

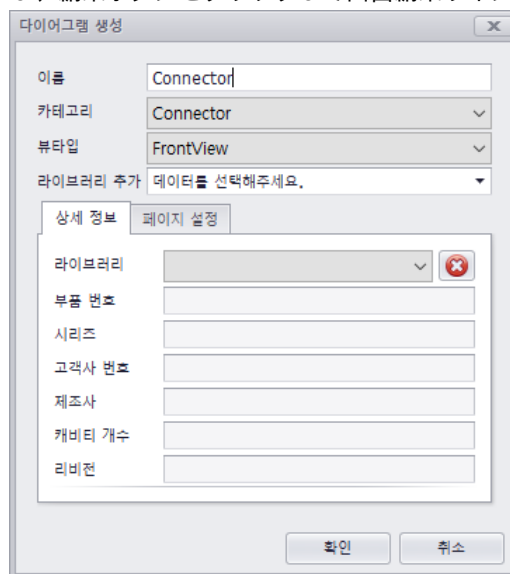
図面にライブラリーを接続する方法は同じで、この説明ではコネクタに基づいて行われます。

ライブラリー接続

ライブラリー接続は、図面編集ウィンドウで実行でき、図面を作成するときに事前に設定できます。
既に生成された図面にライブラリーを追加するには、シンボルリストで追加したい図面を選択し、編集  ボタンをクリックして図面編集ウィンドウを開きます。

1. 図面編集ウィンドウを開く 既に

生成された図面からライブラリーを追加するには、シンボル リストから追加する図面を選択し、編集ボタンをクリックして図面編集ウィンドウを開きます。

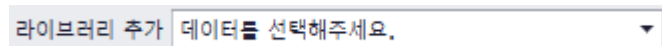


The dialog box titled "다이어그램 생성" (Diagram Generation) contains the following fields and controls:

- 이름 (Name): Connector
- 카테고리 (Category): Connector
- 뷰타입 (View Type): FrontView
- 라이브러리 추가 (Add Library): 데이터 선택해주세요. (Please select data.)
- 상세 정보 (Detailed Information) tab is active, showing:
 - 라이브러리 (Library): [Dropdown menu]
 - 부품 번호 (Part Number): [Text field]
 - 시리즈 (Series): [Text field]
 - 고객사 번호 (Customer Number): [Text field]
 - 제조사 (Manufacturer): [Text field]
 - 캐비티 개수 (Cavity Count): [Text field]
 - 리비전 (Revision): [Text field]
- Buttons: 확인 (OK), 취소 (Cancel)

2. 라이브러리의追加 드롭다운 ボックス 클릭 図面

の編集ウィンドウで、"라이ブラリーの追加" オプションの横にあるドロップダウン ボックスをクリックします。



A close-up of the "라이브러리 추가" (Add Library) dropdown menu, showing the text "데이터 선택해주세요." (Please select data.)

- #### 3. 登録済みライブラリーのリスト表示 드롭다운 ボックスをクリックすると、カテゴリに応じて登録済みライブラリーのリストが表示されます。 リストから追加したいライブラリーを見つけます。

상세 정보		페이지 설정	
라이브러리	CBR693-022		
부품 번호	CBT63-018		
시리즈	91985-1W010		
고객사 번호	CBR693-022		
제조사			
캐비티 개수	1		
리비전			

■ シンボル リストから、確認

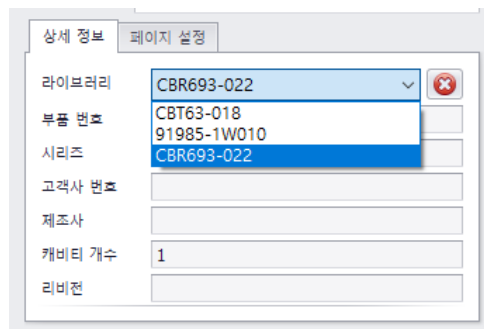
シンボル リストから図面の下部にリンクされているライブラリのリストを確認できます。

Connector	FrontView
CBT63-018	
91985-1W010	
CBR693-022	

ライブラリ接続解除

図面編集ウィンドウでライブラリ接続を解除できます。

1. 図面編集ウィンドウで、詳細タブを開きます。
2. ライブラリ ドロップ ボックスをクリックして、登録されているライブラリのリストを確認します。



3. 接続を解除するライブラリを選択します。
4. 選択したライブラリの右側にあるXボタンをクリックして削除します .
5. 確認ボタンをクリックしてタスクを完了します。

図面検索

図面を検索するときは、シンボル リストのツリーをすべて開いた状態で検索する必要があります。したがって、次の手順に従って進めます。

1. カテゴリ選択シンボル
リストで、1 つのカテゴリをクリックします。

2. ツリー全体を開く 選択した

カテゴリで右クリックし、[開く] をクリックします 。もしすべて  閉じるだけ見えたら、最初にすべて  閉じるを実行してから、もう一度すべて開くを選択します。

3. 検索実行上部

の検索ウィンドウに検索語を入力します。 図面名または図面にリンクされているライブラリの
パート ナンバーで検索できます。



4. 検索結果の確認検索

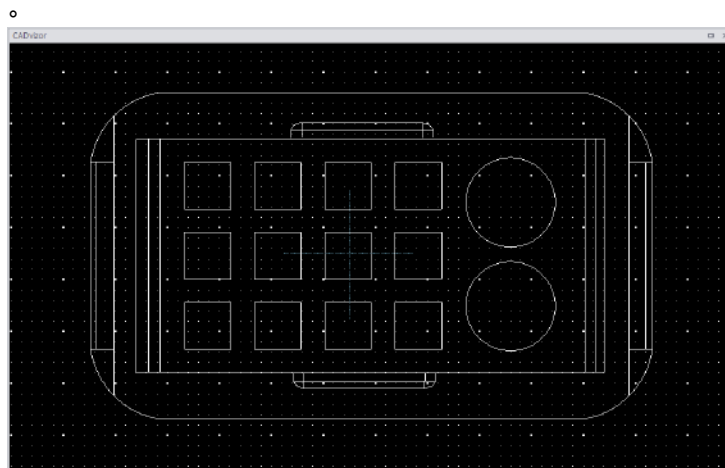
結果で、ダイアグラム アイコンがある項目は図面であり、クリップ アイコンがある項目は、接
続されたライブラリのパート ナンバーです 。  ダイアグラムアイコンをダブルクリック
すると、該当シンボル図面が開き、クリップアイコンをダブルクリックすると、接続されたシン
ボル図面が開きます。

カテゴリー別設計要素

コネクタ-キャビティ設計

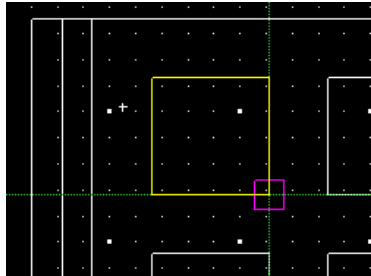
コネクタ シンボルを設計するとき、キャビティは重要な要素です。 キャビティはコネクタの内
部空間を表し、これを正確に設計してこそシンボルが正しく表現されます。 また、MFGで製造
図面を設計する際、シンボル形状にキャビティを正確に入力すると、ワイヤの表現が正しくなり
ます。 シンボルにキャビティを追加する方法は次のとおりです。

1. 図面を開くキャビティを追加する図面を開きます



2. キャビティ追加開始上段の図面編集機能からキャビティ機能 を選択します。

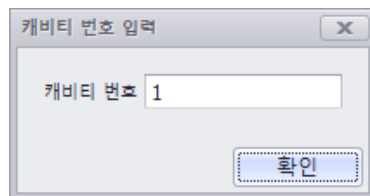
3. キャビティを描く最初のクリックでキャビティを描く位置の左上を設定し、2番目のクリックで右下を設定して四角形を描きます。



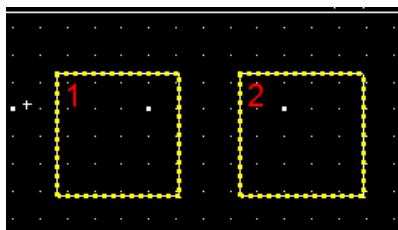
4. キャビティサイズ確認キャビティを描いた後、製造図面でワイヤ情報が表示されるために最小サイズが必要です。もしキャビティサイズが最小サイズを満たさない場合は、案内ボックスが表示されます。この時、サイズを大きくするかどうかを尋ねるメッセージが表示され、"はい"を選択するとシンボルの全体サイズが大きくなります。その後、キャビティを描き直すことができます。もしキャビティサイズが最小サイズを満たすと、案内メッセージは表示されません。



5. キャビティ番号入力四角形を描いた後、キャビティの開始番号を入力します。その後、追加されるキャビティは番号が自動的に1ずつ増加して生成されます。



6. キャビティ描画完了キャビティを描くと、下の写真のように黄色の点線ボックスで表示され、
左上にはキャビティ番号が表示されます。

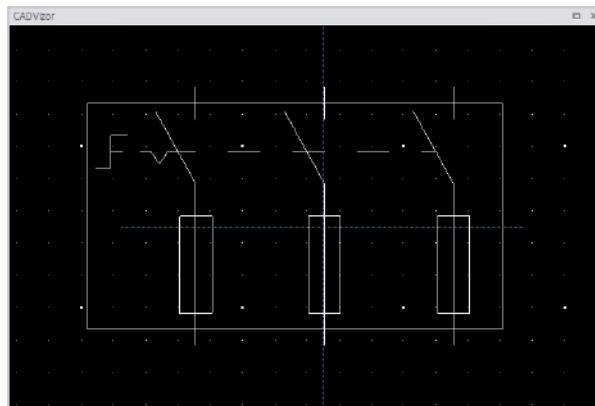


デバイス - ピン設計

デバイス シンボルを設計するとき、ピンの設計はモーター、バッテリー、ヒューズなどのデバイスで必要です。ピンはデバイスの電氣的接続を示し、各ピンの役割に応じて設計する必要があります。デバイスのピン設計のためのプロセスは次のとおりです。

1. 図面開くピンを

追加するデバイスの図面を開きます。



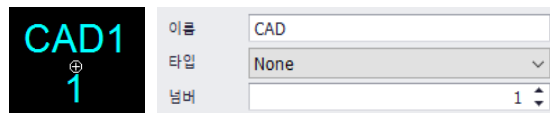
2. ピン機能選択上段の

図面編集機能からPin機能を選択します .

3. ピン オプション設定

ピンを生成する前に、まずピンに対するさまざまなオプションを設定します

。設定できるオプションは次のとおりです。



- ピン名入力画面に表示されるピンの名前を変更できます。デフォルト値はPINで入力されます。

■ ピンタイプ選択

ピンの役割を設定するタイプを選択します。選択可能なタイプは次のとおりです:

- None: 指定していない一般的なピン
- U: ユーザー 定義 ピン
- GND: 接地 ピン
- IN: 入力ピン
- IxO: 入力/出力ピン
- IxO Terminated: 入力/出力終了ピン
- NC: 接続されていないピン
- OUT: 出力ピン
- PWR: 電源ピン
- Coil: コイル ピン

- ピン番号設定画面に表示されるピン番号を設定します。
。 デフォルトは、その図面にある最後のピン番号に 1 を加えた値に自動設定されます。

4. 複数のピンを一度に生成するために、複数のピンを一度に生成できるオプションも提供されます。 このオプションを使用するには、作成する前に次の設定をします:

방향	☒ 가로로 길게	☐ 세로로 길게
그리드 간격	3	
개수	5	



- 핀数の入力: 生成するピン数を入力します。
- 핀間隔の設定: 各ピン間の間隔を設定します。
- 方向設定: 핀을縱または横に配置するか選択します。

オプションタブ

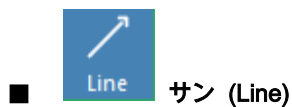
生成したピンは右側のオプションタブで該当情報を確認することができます。

	구분	속성값
▶	이름	CAD1
	핀 타입	None
	핀 번호	1

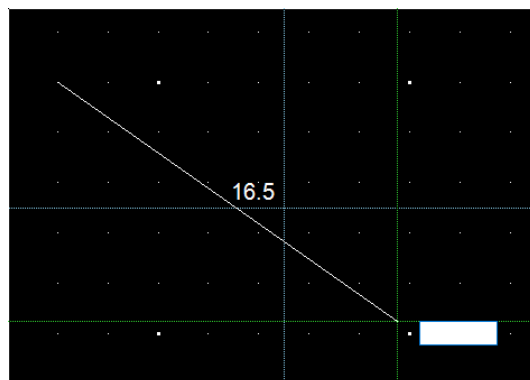
シンボル図面編集

描画要素の作成

図面に様々な基本図形を生成できる機能です。 線、円、四角形、多角形など多様な形態の図形を活用して望む形態を設計することができます。



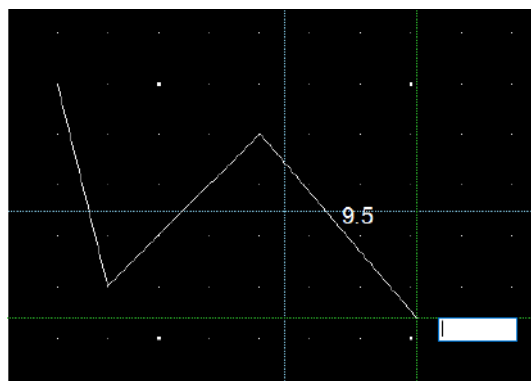
マウスで 2 点を指定して直線を生成する機能です。



1. 始点をクリックして、線の始点を指定します。
2. 終点をクリックすると線が生成されます。または、方向をマウスで調整し、長さを入力してエンター キーを押すと、線が生成されます。



ポリ線は、複数の線をつなげて1つの連続したオブジェクトとして生成する機能です。 必要なだけ線分を追加できます。

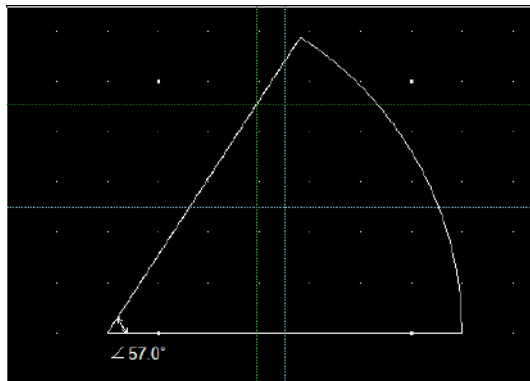


1. 最初の点を選択して、ポリ線の始点を指定します。
2. 次の点をクリックするか、数字を入力して目的の長さや方向に線を引きます。
3. 追加点をクリックし続け、線を続行します。
4. 生成が完了したら、エンター キーを押してポリライン生成を終了します。



■ ホー (Arc)

弧は中心点と半径、回転角を指定して曲線を生成する機能です。

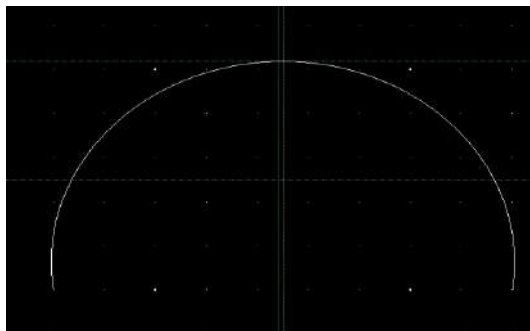


1. 最初の点をクリックして、弧の中心点を指定します。
2. 2 番目の点を選択して、半径を設定します。
3. 3 番目の点を指定すると、回転角が設定され、弧が生成されます。



■ 3点号 (3 Point Arc)

弦と弧の形を指定して曲線を生成する機能です。



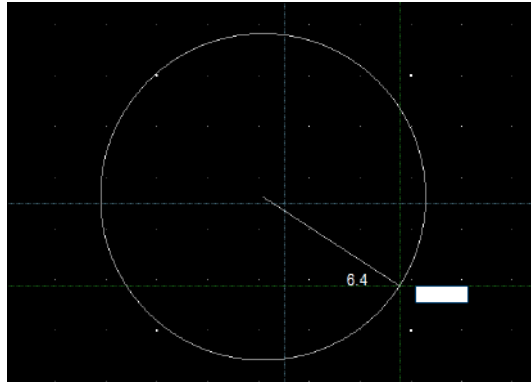
1. マウスで 1 番目の点と 2 番目の点を選択して、弦を生成します。

2. 3 番目の点を指定すると、弧の曲率が設定され、生成されます。



■ 원 (Circle)

中心点と半径を指定して円を生成する機能です。

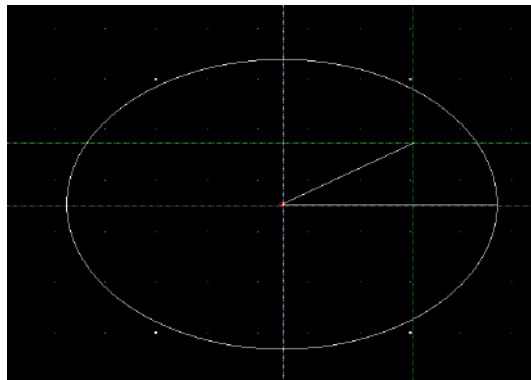


1. マウスで円の中心に指定する場所を選択します。
2. マウスを移動して半径を調整し、クリックすると円が生成されます。または、長さを入力して半径を設定し、エンター キーを押すと、円が生成されます。



■ 타원(Ellipse)

横軸と縦軸を設定して楕円を生成する機能です。

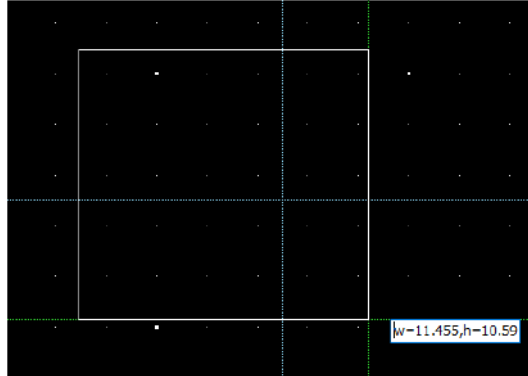


1. 最初の点として楕円の中心を指定します。
2. 2つ目の点として楕円の長軸（横方向）を設定します。
3. 3つ目の点として楕円の短軸（縦方向）を指定して楕円を生成します。



■ Rectangle 四角形 (Rectangle)

2つの点を指定して長方形を生成する機能です。

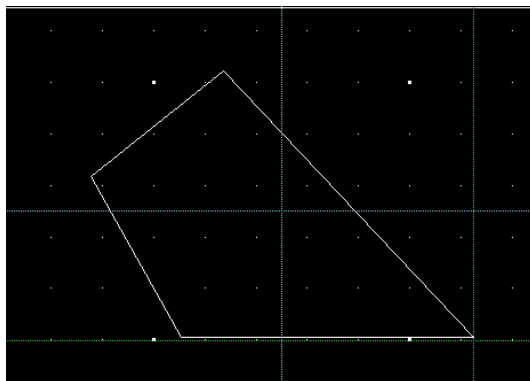


1. 最初の点として、四角形の一角の位置を指定します。
2. 2番目の点として四角形の幅と高さを設定して長方形を生成します。



■ Polygon 多角形 (Polygon)

頂点を指定して正多角形を生成する機能です。

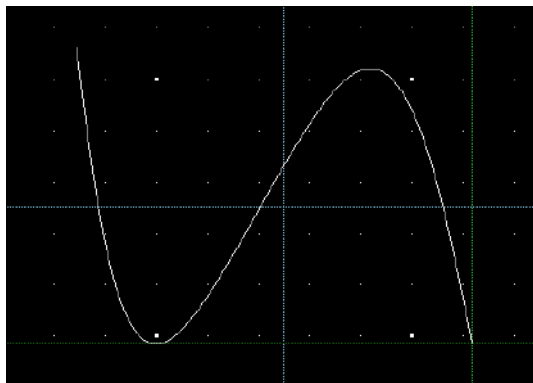


1. マウスで最初の点をクリックして、多角形の最初の頂点を指定します。
2. 引き続き、マウスで追加の点をクリックして、ポリゴンの各頂点を指定します。
3. ポリゴンを完成させるには、エンター キーを押してポリゴンの生成を終了します。



■ 曲線 (Curve)

自由な形の曲線を描く機能です。



1. マウスで最初の点をクリックして、曲線の始点を指定します。
2. 引き続きマウスをクリックして、曲線のパスを定義します。
3. カーブ生成を完了するには、エンター キーを押してカーブ生成を終了します。

設計要素生成

電氣的要素と図面の理解を助ける付加的な要素を追加する機能です。 ピン、キャビティなどの電氣的要素と、テキストや画像などの視覚的要素を配置できます。



■ ピン

電気回路で電線を連結する接点(Connector Pin)を生成する機能です。 デバイスの設計に活用される機能です。 ピン設計の詳細については、[\[シンボル - カテゴリごとの設計要素 - デバイス\]](#)を確認してください。



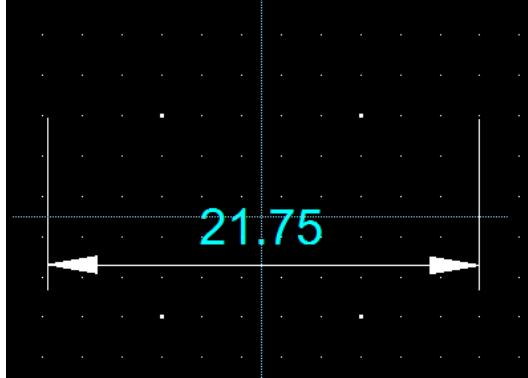
■ キャビティ

コネクタ内部でキャビティが位置する空間を生成する機能です。 コネクタ設計に活用される機能です。 キャビティ設計の詳細については、[\[シンボル-カテゴリ別設計要素-コネクタ\]](#)を確認してください。



■ 寸法線

図面要素のサイズと距離を表示する機能です。

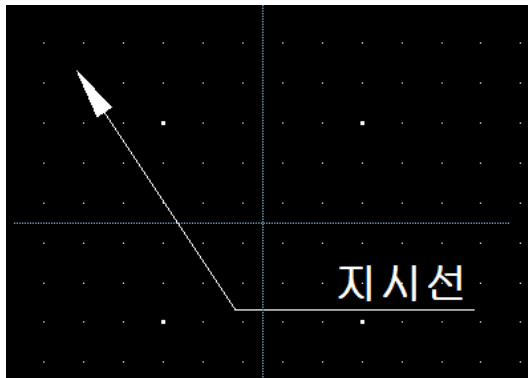


1. 最初のクリックで寸法を測る始点を選択します。
2. 2 番目のクリックで終点を選択し、寸法の範囲を設定します。
3. 3 番目のクリックで、寸法情報が表示される場所を選択して表示します。



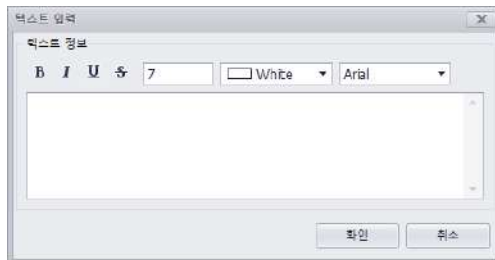
■ 指示線

特定の部品や要素の説明を追加する機能です。



1. 最初のクリックで、矢印が示す場所を選択します。
2. 2 番目のクリックで、矢印の折り目の位置を選択して矢印を作成します。
3. 3 番目のクリックで、矢印に続く線分を描画します。

4. テキスト入力ウィンドウが表示されたら、説明するテキストを入力します。

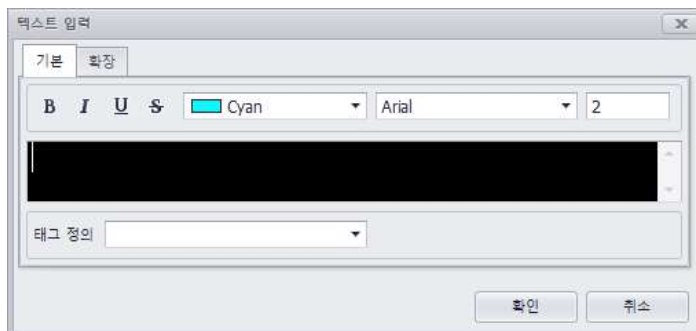


5. [OK] ボタンをクリックすると、線分上にテキストが表示されます。



■ 텍스트

図面内に説明を追加する機能です。



1. [Text] ボタンをクリックします。
2. 入力ウィンドウが表示されたら、目的のテキストを入力します。
3. テキストのスタイルを設定します: Bold、傾き、下線、中間線、色、書体、文字のサイズを調整します。拡張タブでは、テキストの並べ替えを設定することもできます。
4. 設定を完了したら、[OK] ボタンをクリックします。



■ Follow Text

図面名を図面に挿入する機能です。主にMFGでシンボル図面の名前が必要な場合に使用されます。図面名を登録しておけば、製造図面生成時にシンボルを追加する時、該当シンボルを移動する時に図面名も一緒に移動します。

1. Follow機能を選択します。

2. 図面で、図面名を挿入する場所をクリックして作成します。



■ **イメージ追加**

図面内に外部画像を挿入する機能です。

1. [画像の追加] 機能をクリックします。
2. 追加したい画像を選択して開きます。
3. 図面内で、画像を挿入する最初場所(左上)をクリックします。
4. 2 番目のクリックで、画像を配置する場所（右下）を指定して、画像を図面に追加します。

オブジェクト編集

すでに配置されたオブジェクトを移動、サイズ調整、回転、反転などの方法で修正できる機能です。



■ **オブジェクト移動**

選択したオブジェクトを目的の場所に移動する機能です。

1. 移動するオブジェクトを選択します。 複数のオブジェクトを同時に選択すると、一度にすべて移動できます。
2. 移動ボタンをクリックして移動モードに切り替わります。
3. 基準となる点を選択して、移動する基準点を設定します。
4. 移動する場所をクリックして、オブジェクトを新しい場所に移動させます。



■ **オブジェクトサイズ調整**

オブジェクトのサイズを変更する機能です。

1. サイズを変更したいオブジェクトを選択します。 複数のオブジェクトを同時に選択することもできます。
2. サイズ調整ボタンをクリックしてサイズ調整モードに切り替えます。
3. マウスを使用してオブジェクトのサイズをドラッグして調整するか、倍数をキーボードで入力し、エンターキーを押してサイズを変更します。



■ オブジェクト回転

選択したオブジェクトを特定の角度で回転させる機能です。

1. 回転するオブジェクトを選択します。複数のオブジェクトも同時に選択できます。
2. 回転ボタンをクリックして回転モードに切り替えます。
3. 回転角度をキーボードで入力し、エンターキーを押してオブジェクトを回転させます。



■ オブジェクト反転

左右または上下対称にオブジェクトを反転する機能です。

1. 反転したいオブジェクトを選択します。
2. 反転ボタンをクリックして反転モードに切り替えます。
3. 上下または左右に反転する基準となる線が画面に表示されます。
(基準線の上にマウスを移動すると反転した様子をプレビューすることができます。)
4. 目的の反転軸(基準線)を選択すると、オブジェクトがその軸に基づいて反転します。



■ グループ化 / グループ解除

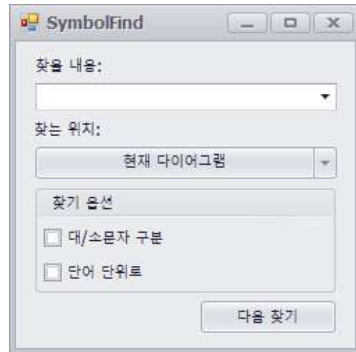
複数のオブジェクトを 1 つのグループにまとめたり、グループを解放したりする機能です。

1. グループ化する複数のオブジェクトを選択します。
2. グループ化ボタンをクリックすると、選択したオブジェクトが 1 つのグループにまとめられます。
3. グループを解除するには、グループ解除ボタンをクリックすると、グループ化されたオブジェクトが個別のオブジェクトに分離されます。



■ 텍스트検索

図面内の特定のテキストを検索してすばやく見つけることができる機能です。



1. 検索したいテキストを入力します。
2. [次の検索] ボタンをクリックして、そのテキストを図面から検索します。
3. 検索オプションを使用して、大文字と小文字を区別するか、単語単位で検索するかを選択できます。

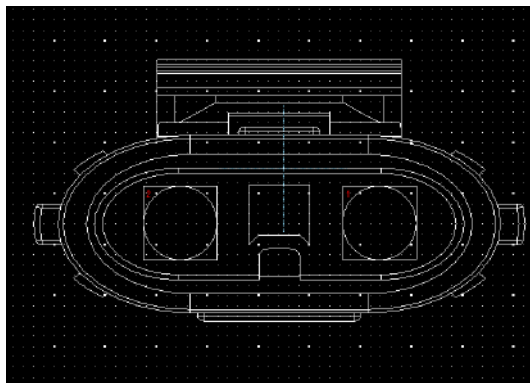
ファイルのインポートとエクスポート

図面を保存するか、外部ファイルをインポートする機能です。



■ Dwg/Dxf 持ってくる

Dwg/Dxf形式の外部ファイルをプログラムにインポートする機能です。



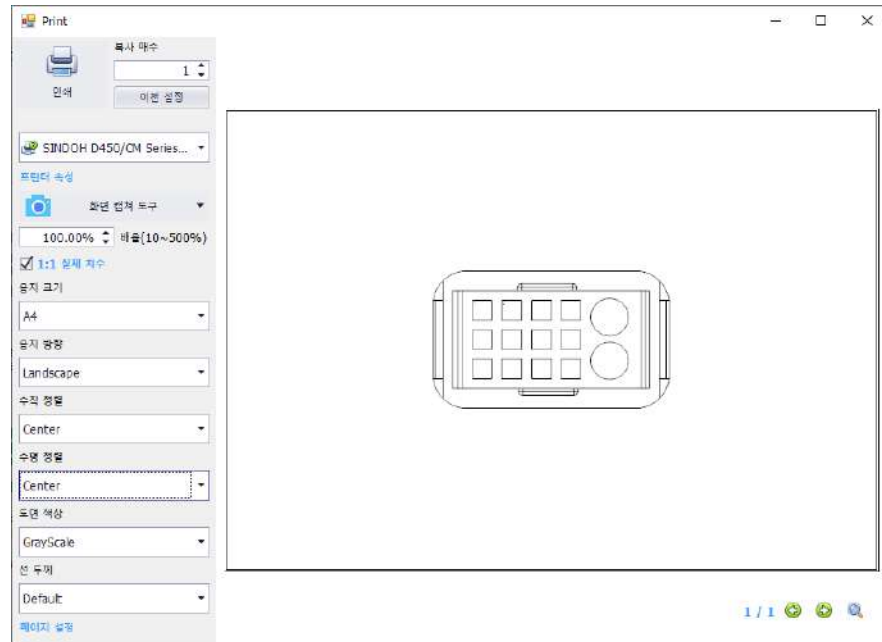
1. ファイル メニューから [Dwg/Dxf インポート] を選択します。
2. インポートする Dwg/Dxf ファイルを選択して開くをクリックします。

3. 作成したい場所をクリックして、ファイルのインポートを完了します。



■ プリント

図面を印刷する機能です。印刷前のさまざまな設定により、出力する図面の形状を調整できます。



- 印刷枚数、用紙サイズ、並べ替え、方向、色、線の厚さなどを設定できます。
- ページの余白や倍率などを調整して、出力する図面の大きさと比率を合わせることができます。
- 画面キャプチャツールを利用して図面で希望する部分だけを選択して印刷することができ、
全体の図面を選択して出力することもできます。
- 右下ではページの移動や印刷プレビューを通じて最終出力の状態を確認することができます。

CADvizer に関するお問い合わせ

京畿道城南市盆唐区大王板橋路 660、ユospace A-1106 号

㈱ユラ IT 事業本部開発 2 チーム

13494

電話:070-7878-7082

ウェブサイト : <http://www.cadvizer.com>

販売情報

CADvizer 製品を追加で購入する場合は、代理店または本社に直接お問い合わせください。

テクニカルサポート

製品に関する技術的なお問い合わせやご使用に不便な点は、下記メールにてお問い合わせください。

メール:cadvizer@gmail.com

フィードバック

CADvizer に対する改善点、エラー事項はいつでもお問い合わせください。